

教職員の働き方改革のためのマザーズルーム・リフレッシュスペースの
設置に対する支援事業に係る報告書

目次

はじめに

1 調査研究事業の目的・内容	3
(1) 目的	
(2) 内容	
(3) 実施団体及び対応状況	
2 効果検証	7
(1) 運用開始後調査（設置3か月経過時点）	
(2) 事業終了時調査（令和7年3月末時点）	
(3) 情報提供に係る効果確認	
3 調査結果（教職員向け）	13
(1) 利用状況	
(2) 利用者における調査結果	
(3) 未利用者における調査結果	
4 調査結果（学校向け）	23
(1) マザーズルーム・リフレッシュスペースを運用する上で工夫や配慮したこと	
(2) プライバシーの確保の方法	
(3) 好評だった備品	
(4) 設置によって得られた効果	
(5) 設置によって生じた課題	
(6) 全般の自由意見	
5 調査結果（教育委員会向け）	28
(1) マザーズルーム・リフレッシュスペース設置までの具体的な流れ	
(2) マザーズルーム・リフレッシュスペース設置校の選定基準	
(3) 設置によって得られた効果	
(4) 設置によって生じた課題	
(5) 全般の自由意見	
6 調査結果（情報提供に対する確認）	32
(1) 情報提供内容に対する教職員の回答	
(2) 情報提供をきっかけとした健康づくり支援	
7 考察及び提言	33
(1) 考察	
(2) 提言	
参考	35
・当事業にご協力いただいた各教育委員会・学校の設置事例	
・「共済フォーラム（令和7年3月号）」掲載記事に対するご意見	
・他団体における教職員に対する職場環境改善の取組一例	

はじめに

現在、教職員は多忙な業務により心身ともに疲弊しており、深刻な成り手不足が続いています。授業に加えて、部活動の指導、保護者対応、事務作業などが重なり、長時間労働が常態化しているのが現状です。その結果、メンタルヘルスに問題を抱える教職員が増加し、退職者の数も年々増加傾向にあります。このような状況では教育の質の維持も困難となり、教職を志す若者の減少にもつながりかねません。

このような課題に対応するためには、業務量の削減や人員の確保といった制度的な対応に加え、教職員が心身をリフレッシュできる環境づくりが不可欠です。特に、校内にリラックスできる休養スペースを設けることは、日々の緊張感やストレスを軽減し、メンタルヘルスの悪化を防ぐ上で有効です。静かに休憩を取ったり、気持ちを切り替えたりできる場所の整備は、教職員の持続可能な勤務環境を支える重要な要素となります。

また、教職員の多様なライフスタイルを支援する観点からは、育児と仕事の両立を後押しする取組も求められています。例えば、厚生労働省が推進している搾乳室（マザーズルーム）の設置は、出産後に職場復帰する教職員が安心して働き続けるために欠かせない施設です。プライバシーが確保され、衛生的に利用できる専用スペースがあることで、教職員の不安や負担を軽減し、働きやすい職場づくりにもつながります。

このたび、当共済組合では、一部の教育委員会や学校と協力し、マザーズルームやリフレッシュルームの設置が進むよう、備品等の補助を行いました。そして、その部屋を利用した教職員等へヒアリング調査を行い、効果検証等の結果を取りまとめたところです。

本報告書により、本事業の取組結果が関係団体に共有され、教職員の職場環境改善の一助となることを願っております。

※調査の回答内容については、原則そのままの表現を使用していますが、一部表記を整理、修正しています。

1 調査研究事業の目的・内容

(1) 目的

当共済組合は、教育委員会が取り組んでいる公立学校で働く教職員に対して、心身ともに健康で安心して働ける職場づくりに関する支援を行い、教職員の健康維持、健康回復等に係る調査研究を実施しました。

この調査研究の結果について、文部科学省、教育委員会等機関へ共有し、広報することにより、教職員の働き方改革や職場環境の改善に向けた取組が推進されることを目的としています。

(2) 内容

全国 14 か所の教育委員会（16 の学校）と連携し、教職員が心身ともに健康で安心して働くに当たって、学校に「マザーズルーム」や「リフレッシュスペース」の設置が進むよう、設置の際に必要なとされる備品等の購入費用の一部を助成しました。助成額は一つの教育委員会につき最高 50 万円とし、調査研究期間は令和 5 年度に設置してから令和 6 年度末までの期間としています。

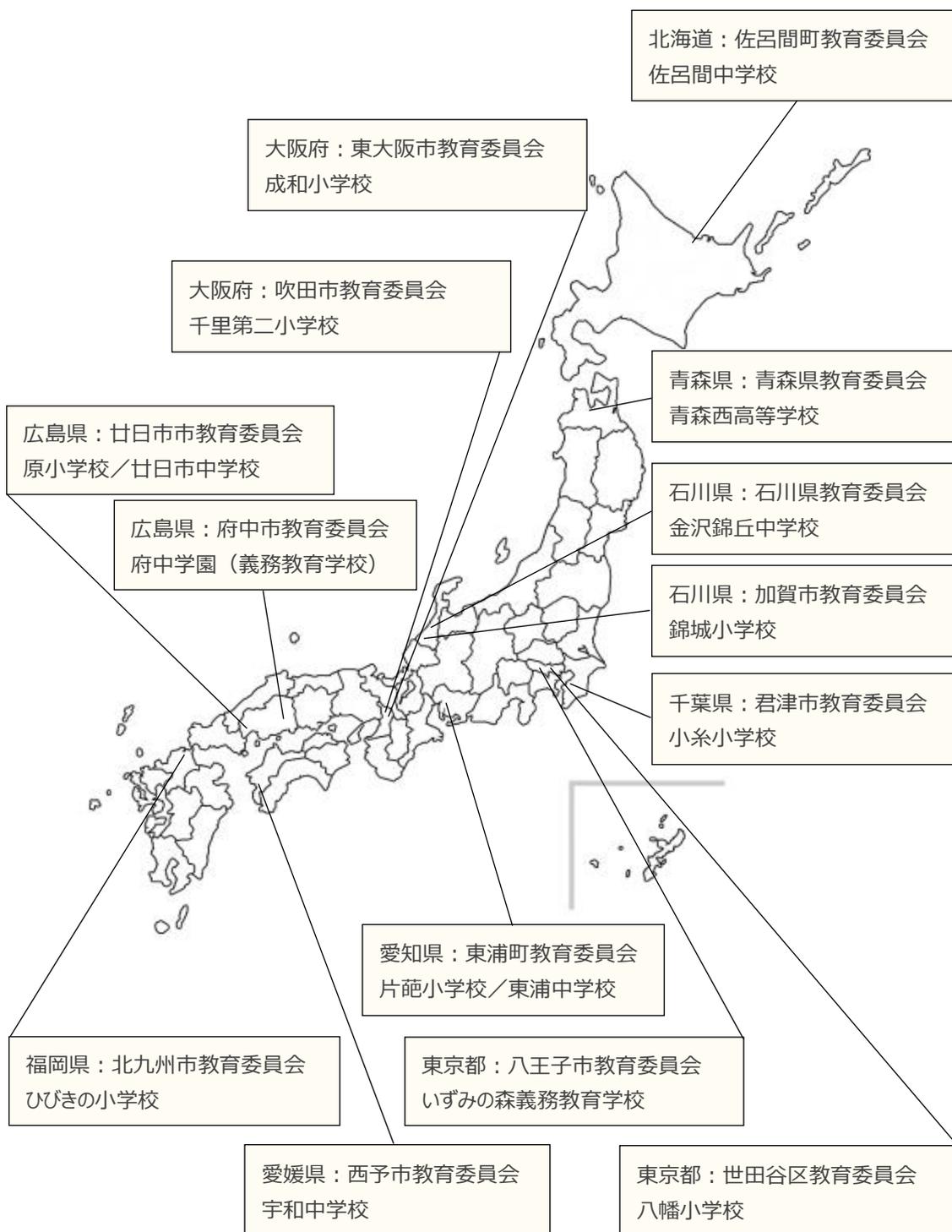
なお、教育委員会はこのマザーズルーム・リフレッシュスペースの利用状況等について、設置の 3 か月後及び令和 6 年度末までの設置・運用に係る効果検証等の協力やその結果を当共済組合へ報告することを前提にご対応いただきました。

また、教職員の健康づくりを支援するため、当共済組合が健康情報や共済事業（相談事業・リフレッシュ事業等）に関する情報冊子等を学校へ提供して教職員への周知を図り、その効果を確認することとしました。

(3) 実施団体及び対応状況

① 実施教育委員会及び学校

当事業を利用したのは14の教育委員会にそれぞれ所属する16校（小学校8校、中学校5校、高等学校1校、義務教育学校2校）です。



② 設置前の部屋の用途

マザーズルーム・リフレッシュスペースの設置に当たって、元の部屋の用途は3つの区分に整理されました。

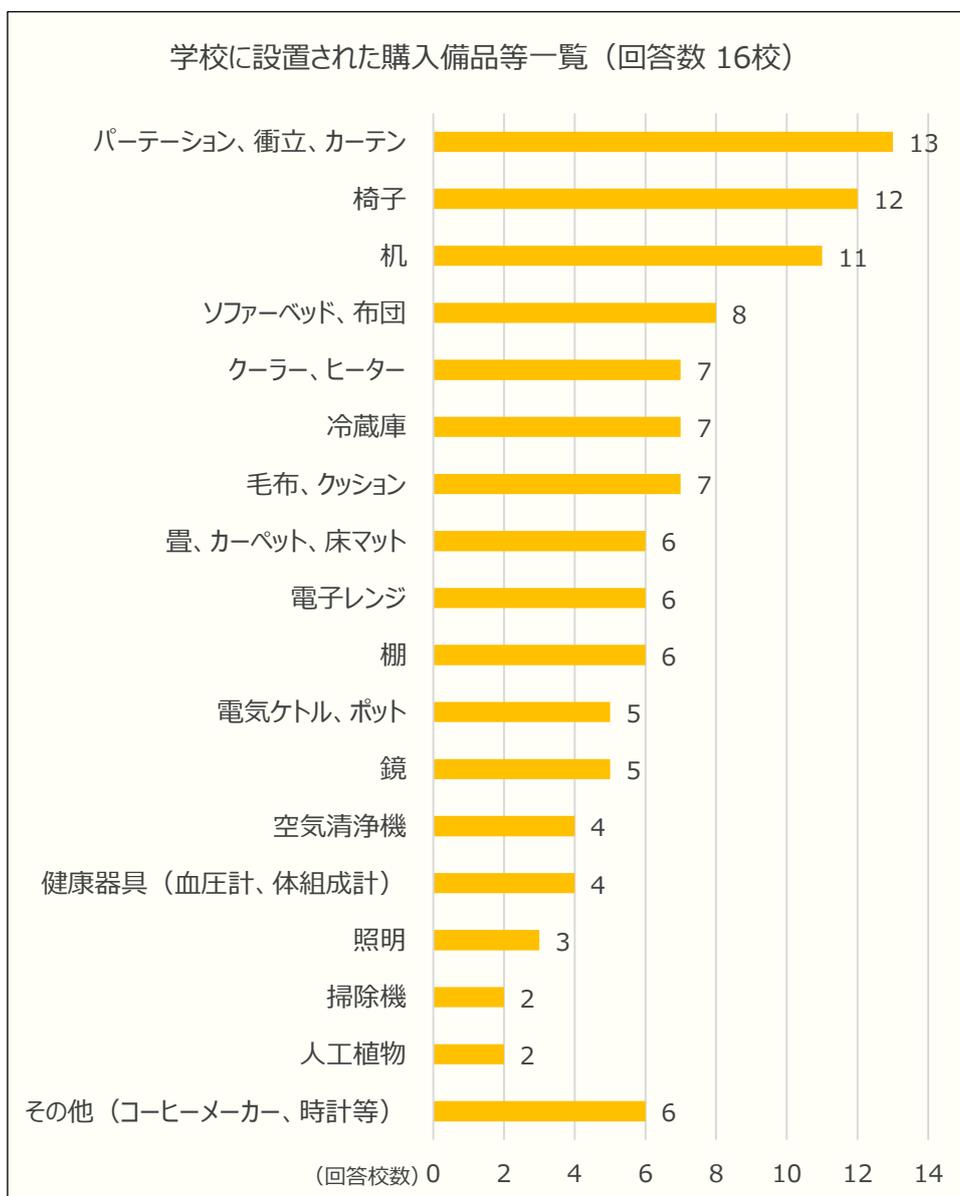
- ① 比較的利用頻度の少ない教室等の機能を転用
- ② 休憩室や休養室の備品等を整備して機能を充実
- ③ 職員室内の一角にリフレッシュできるスペースを整備

(※学校ごとの具体的な設置事例は、巻末の35ページをご覧ください。)

学校名	設置前の部屋の用途
佐呂間中学校	① (会議室)
青森西高等学校	② (女性休憩室)
小糸小学校	① (相談室)
八幡小学校	① (ランチルーム)
いずみの森義務教育学校	① (特別支援教室)
金沢錦丘中学校	② (女性休憩室)
錦城小学校	① (宿直室・校務室)
片葩小学校	① (教室)
東浦中学校	③ (職員室)
千里第二小学校	② (教職員用休養室)
成和小学校	① (相談室)
原小学校	② (休憩室)
廿日市中学校	② (前室(小部屋))
府中学園 (義務教育学校)	① (ミーティングルーム)
宇和中学校	① (相談室)
ひびきの小学校	① (相談室)

③ 整備された備品等

設置されたマザーズルーム・リフレッシュスペースの目的や用途に応じて整備された備品等は学校によって異なりますが、個人のプライバシーを重視し、体を休めることのできる家具や室温を調整できる冷暖房機器等が高い順位となりました。



④ 学校へ情報提供した冊子等

健康情報や共済事業の周知を図るため、マザーズルーム・リフレッシュスペース内に本棚を設置し、以下の冊子等を配架しました（発送時期や地域により、内容は異なります。）。

- ・広報誌 共済フォーラム（発送月の直近号）
- ・メンタルヘルス健康相談、LINE相談のチラシ及びポスター
- ・（設置校近隣を中心とした）直営病院からのメンタルヘルス関連の冊子及びチラシ
- ・やすらぎの宿（当共済組合宿泊施設）ポケットパンフレット及びキャンペーンチラシ
- ・市販の健康関連冊子（健康増進、特定健診、ストレスマネジメント、プレママ・パパ、歯科に関する内容）等

2 効果検証

各学校で設置されたマザーズルーム・リフレッシュスペースの効果を検証するため教育委員会を対象にアンケート調査を行いました。

また、令和7年3月末の事業終了時においては、実際にマザーズルーム・リフレッシュスペースを利用した組合員、設置運用した学校及び教育委員会から、確認したいこと等を含めて様々なご意見を確認しました。

ほかにも、学校へ情報提供したことに対する効果を確認しました。

(1) 運用開始後調査（設置3か月経過時点）

適切に利用、運用されているか、事業の方向性を修正する必要があるか等を確認するため、以下の内容にて、教育委員会に聞き取りを行いました。その結果、各学校の工夫により教職員のためのスペースの運用が順調に開始されていることを確認できました。

各教育委員会からの回答内容については、次項(2)事業終了時調査の回答内容に含まれているため、単独での集計は省略しています。

効果検証シート

1 学校名

2 利用状況（確認できるものを添付）

3 運用上の工夫や配慮事情

4 利用者、学校の声（実施したアンケート等を添付）

5 設置によって得られた効果や課題（最終実績報告時には、今後の運用や他校で実施する際に参考となるものも含めて記載）

6 その他補足事項

※ 効果検証に当たり、利用状況、運用上の工夫等わかる写真を添付。

※ 対象となる学校施設が複数の場合、それぞれの学校について記載。

(2) 事業終了時調査（令和7年3月末時点）

教育委員会、設置した学校及び設置した学校の教職員を対象にそれぞれ聞き取りを行いました。

① 調査内容（教職員向け）

教職員に対し、利用状況や満足度を把握するため、以下の様式に基づき、Web 機能を活用した匿名形式にて調査を行いました。

①あなたの性別を選択してください。

- ・男性
- ・女性
- ・回答しない

②マザーズルーム・リフレッシュスペースを利用しましたか。

- ・はい
- ・いいえ

～次の質問については、②が「はい」なら③～⑤及び⑦の画面が表示され、「いいえ」の場合は⑥及び⑦の画面が表示されます～

<利用した>

③利用した方にお伺いします。利用頻度はどのくらいですか。

- ・1週間に1回以上
- ・2週間に1回程度
- ・1か月に1回程度
- ・数か月に1回程度

④利用した方にお伺いします。次の選択肢から、利用目的で最も当てはまるものを教えてください。

- ・休憩のため（飲食含む）
- ・教職員同士の交流のため（談話等）
- ・体調不良時の休養のため
- ・産前産後、育児復帰後の体調管理のため
- ・業務上の理由（打合せ等）
- ・その他〔選択した方は詳細を記入してください〕（任意）

⑤利用した方にお伺いします。満足度を教えてください。

- ・1（不満）
- ・2
- ・3

- ・4
- ・5（どちらでもない）
- ・6（どちらでもない）
- ・7
- ・8
- ・9
- ・10（満足）

⑦調査は以上ですが、マザーズルームまたはリフレッシュスペースについて、ご意見・ご感想がありましたらご記入ください（100文字まで）。なお、当該欄に記入いただいたご要望・照会には対応できませんのでご了承ください。（任意）

<利用していない>

⑥利用したことのない方にお伺いします。次の選択肢から、利用しない理由で最も当てはまるものを教えてください。

- ・時間がないから
- ・必要性を感じないから
- ・利用しにくいから
- ・その他〔選択した方は詳細を記入してください〕（任意）

⑦調査は以上ですが、マザーズルームまたはリフレッシュスペースについて、ご意見・ご感想がありましたらご記入ください（100文字まで）。なお、当該欄に記入いただいたご要望・照会には対応できませんのでご了承ください。（任意）

② 調査内容（学校向け）

各学校に対し、運用上の工夫や得られた効果、感じた課題を把握するため、以下の様式に基づき聞き取り調査を行いました。

マザーズルーム・リフレッシュスペース設置支援事業に係る調査

1 (1) マザーズルーム・リフレッシュスペースを運用する上で工夫や配慮したことについて、次の中から選択してください。（複数回答可）

- ・水回りの設備を設置（搾乳、飲食等のため）
- ・空調回りの設備を設置
- ・プライバシーの確保→（2）へ
- ・運用ルールの明示
- ・リラックス・リフレッシュできる環境づくり（ソファーやリクライニングチェア等を設置するなど）
- ・健康管理できる環境づくり（体組成計や血圧計等を設置するなど）
- ・その他（内容を次の欄に記入願います）

(2) 上記（1）で「プライバシーの確保」と回答された場合にお伺いします。その具体的な内容を次の中から選択してください。（複数回答可）

- ・鍵の設置
- ・利用中の札等をドアに表示
- ・室内をカーテン等で仕切る
- ・その他（内容を次の欄に記入願います）

2 好評だった備品を次の中から選択してください。（複数回答可）

- ・リクライニングチェア・椅子
- ・ソファー・ベッド
- ・机・テーブル
- ・冷蔵庫
- ・電子レンジ
- ・体調管理機器（血圧計等）
- ・その他（内容を次の欄に記入願います）

3 学校として、設置によって得られた効果について、次の中から選択してください。（複数回答可）

- ・教職員の健康改善
- ・教職員のストレス解消
- ・教職員の母体保護
- ・教職員の人事交流の促進
- ・産育休復帰の促進
- ・プライベートの時間と場所の確保
- ・その他（内容を次の欄に記入願います）

4 学校として、設置によって生じた課題がありましたら、今後の運用や他校で実施する際に参考となるものも含めて記入してください。

調査は以上ですが、マザーズルームまたはリフレッシュスペースについて、ご意見・ご感想がありましたら記入してください（任意）。

なお、当該欄に記入いただいたご要望・照会には対応できかねますので、ご了承ください。

③ 調査内容（教育委員会）

各教育委員会に対し、設置に当たって取り組んだことや感じた課題を把握するため、以下の様式に基づき聞き取り調査を行いました。

マザーズルーム・リフレッシュスペース設置支援事業に係る調査

- 1 マザーズルーム・リフレッシュスペース設置までの具体的な流れをお教えてください。

- 2 マザーズルーム・リフレッシュスペースを学校に設置するにあたり、選定基準（規模や産育休対象者の有無等）となった事項について、記入してください。

- 3 教育委員会として、設置によって生じた効果がありましたら、今後の運用や他校で実施する際に参考となるものも含めて記入してください。

- 4 教育委員会として、設置によって生じた課題がありましたら、今後の運用や他校で実施する際に参考となるものも含めて記入してください。

調査は以上ですが、マザーズルームまたはリフレッシュスペースについて、ご意見・ご感想がありましたらご記入ください（任意）。

なお、当該欄に記入いただいたご要望・照会には対応できかねますので、ご了承願います。

(3) 情報提供に係る効果確認

学校へ情報提供した健康情報や共済事業等の冊子、リーフレットについて良かったものや今後読みたいものについて、以下から選択してもらいました。

- ① 健康全般に関するもの
- ② 育児に関するもの
- ③ メンタルヘルスに関するもの

また、ご自身の健康管理で気になることについて、以下から選択してもらいました。

- ① 食事
- ② 運動
- ③ 睡眠
- ④ メンタルヘルス
- ⑤ (上記以外の) その他

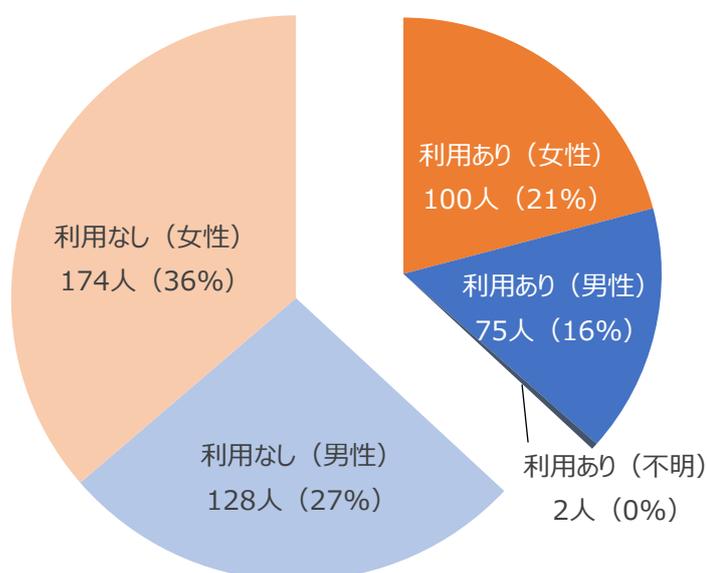
ほかにも、設置校の属する支部から学校へ提供した情報を契機とした健康支援事業の実施の有無について支部へ確認しました。

3 調査結果（教職員向け）

（1）利用状況

回答した 479 人のうち、マザーズルーム・リフレッシュスペースを利用した者は 177 人（約 37%）、利用しなかった者は 302 人（約 63%）であり、利用しなかった教職員の方が多く結果となりました。また、性別による利用状況の有無に大きな差は見られませんでした。

マザーズルーム・リフレッシュスペースの利用状況（回答数 479 人）



回答状況	計	男性	女性	不明
調査対象者数	732 人	－	－	－
回答者数	479 人	203 人	274 人	2 人
（利用あり）	（177 人）	（75 人）	（100 人）	（2 人）
（利用なし）	（302 人）	（128 人）	（174 人）	（0 人）

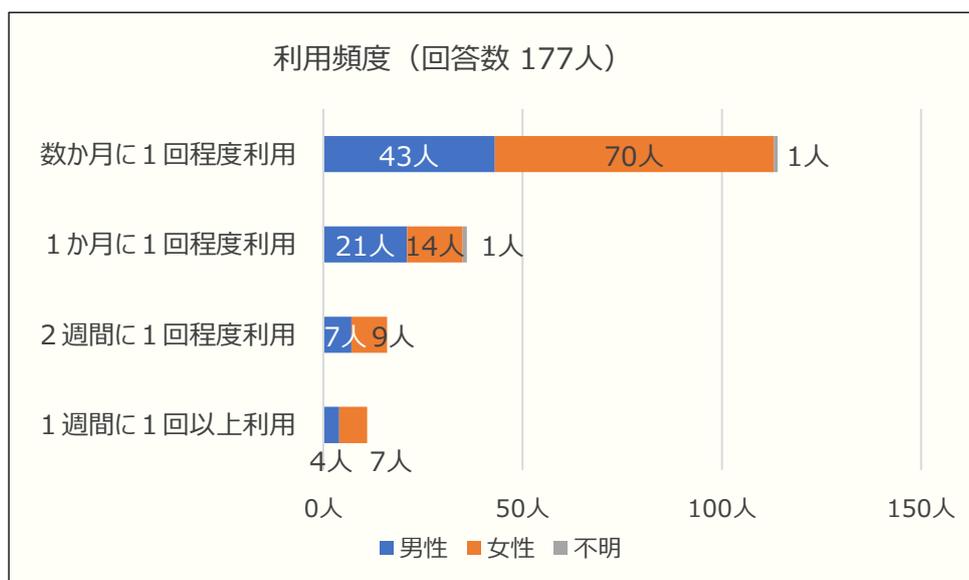
※当事業の利用申請時点における教育委員会から受領した各学校の教職員数の合計値を元としています。

(2) 利用者における調査結果

① 利用頻度

「数か月に1回程度」の利用者が114人（約64%）と一番多く、「1週間に1回以上」の利用者が11人（約6%）と一番少ない結果となりました。

なお、利用頻度の低い理由として、「数か月に1回程度利用」を選択した者の任意のご意見等では、『利用したいが、時間がないため利用できない』という内容が多く見られました。



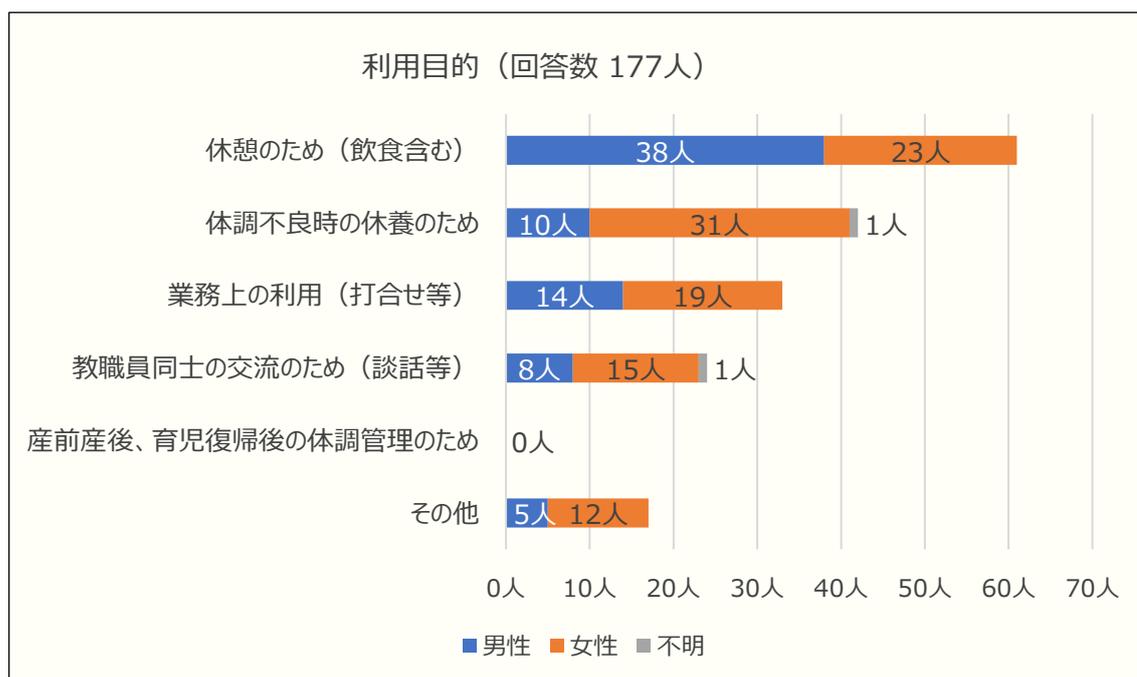
利用頻度	計	男性	女性	不明
数か月に1回程度利用	114人	43人	70人	1人
1か月に1回程度利用	36人	21人	14人	1人
2週間に1回程度利用	16人	7人	9人	0人
1週間に1回以上利用	11人	4人	7人	0人

② 利用目的（最も当てはまるもの）

「休憩のため（飲食含む）」が61人（約34%）と一番多い結果となりました。

男女別の回答比率と比較したところ、「休憩のため（飲食含む）」については、男性の利用が特に多いこと、また、「体調不良時の休養のため」については、女性の利用が特に多いことがわかりました。

なお、女性の任意のご意見等では、『体調不良のため必要に迫られて利用した』という内容が複数見られました。



利用目的	計	男性	女性	不明
休憩のため（飲食含む）	61人	38人	23人	0人
体調不良時の休養のため	42人	10人	31人	1人
業務上の利用（打合せ等）	33人	14人	19人	0人
教職員同士の交流のため（談話等）	24人	8人	15人	1人
産前産後、育児復帰後の体調管理のため	0人	0人	0人	0人
その他	17人	5人	12人	0人

「その他」の主な回答

○ 個人的な利用

- ・自分の子供の学校から私用の電話がかかってきたとき。私用の電話ができるようなスペースがなく、生徒が通る廊下でするしかないので利用しました。
- ・個人的な電話をかける時に利用しています。
- ・着替えのため。

○ その他

- ・赤ちゃんふれあい事業の控室。
- ・行事などの準備。

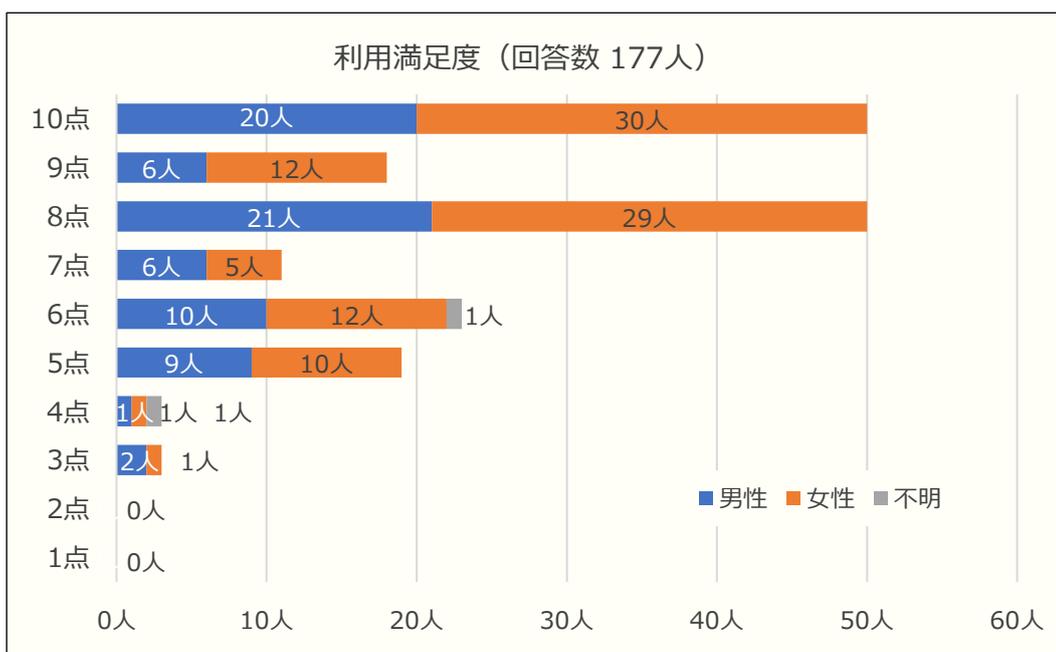
③ 利用満足度（10段階）

比較的高い満足度が示され、「8点」以上を付けた利用者は118人（約67%）と半数を超えました。

また、利用者の満足度平均は「7.8点」となり、男女別では女性が「8.0点」、男性が「7.7点」と女性の方がやや高い結果となりました。

満足度「8点」以上を選択した者の任意のご意見等では、『部屋が綺麗でリラックスして快適に過ごすことができ、調子の悪い時に活用できてよかった』などの内容が多く見られました。

満足度「5点」以下を選択した者の任意のご意見等では、『利用する時間が取れない』という内容が多く見られました。

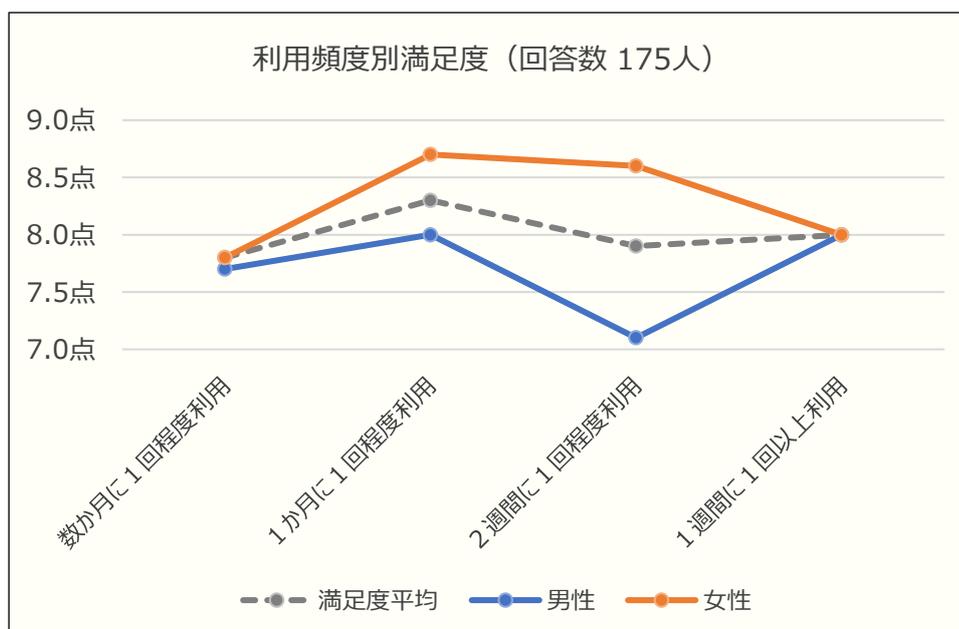


満足度	計	男性	女性	不明
10点	50人	20人	30人	0人
9点	18人	6人	12人	0人
8点	50人	21人	29人	0人
7点	11人	6人	5人	0人
6点	23人	10人	12人	1人
5点	19人	9人	10人	0人
4点	3人	1人	1人	1人
3点	3人	2人	1人	0人
2点	0人	0人	0人	0人
1点	0人	0人	0人	0人

④ 利用頻度別満足度

上記(2)①と③の結果から、「1か月に1回程度利用」が8.3点と一番高い値を示し、また、「2週間に1回程度利用」では、男性7.1点、女性8.6点と男女の満足度に大きく差が出ましたが、特段の理由は見られませんでした。

なお、利用頻度「数か月に1回程度利用」の満足度は、『体調不良時に利用できて助かった』という高い満足度と、『利用したいが、時間がないため利用できない』という低い満足度の両端の回答が複数混在したことにより、平均的な値となりました。



利用頻度	満足度平均	男性	女性
数か月に1回程度利用	7.8点	7.7点	7.8点
1か月に1回程度利用	8.3点	8.0点	8.7点
2週間に1回程度利用	7.9点	7.1点	8.6点
1週間に1回以上利用	8.0点	8.0点	8.0点

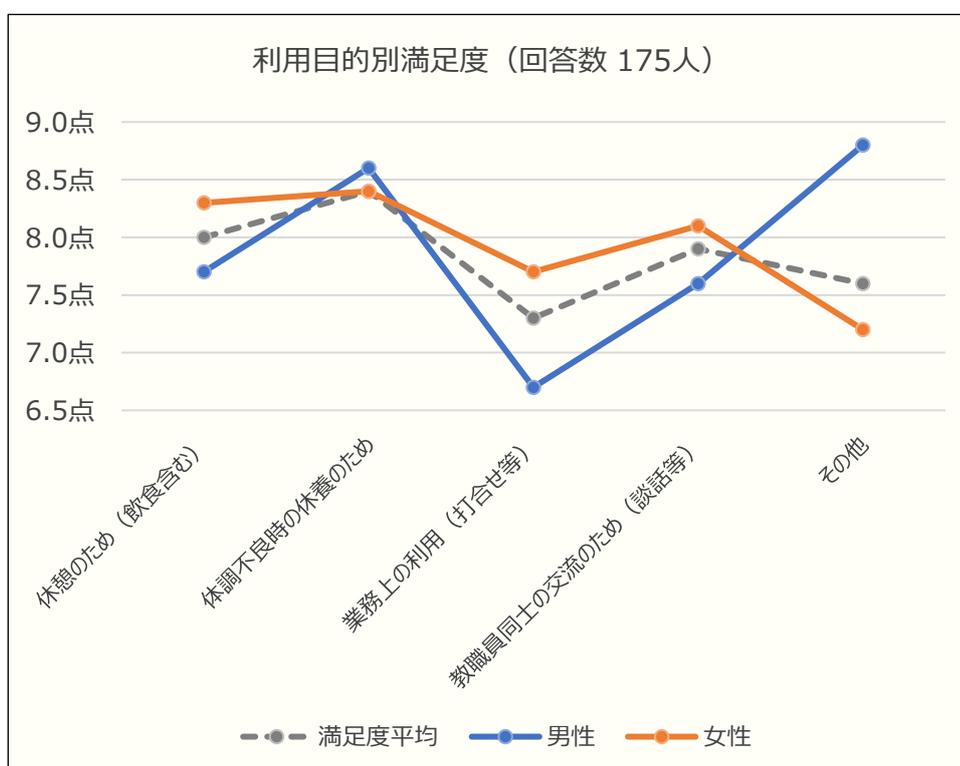
※性別不明者を除いています。

⑤ 利用目的別満足度

上記(2)②と③の結果から、「体調不良時の休養のため」が8.4点と利用満足度平均である7.8点を大きく上回っていました。

また、「業務上の利用（打合せ等）」は男性より女性の満足度が高く、「その他」は女性より男性の満足度が高い傾向が見られました。

なお、利用目的が「体調不良時の休養のため」を選択した者の任意のご意見等では、『実際に体調不良時に活用できて大変ありがたかった』と回答した者の満足度が極めて高い値を示していました。



利用目的	満足度平均	男性	女性
休憩のため（飲食含む）	8.0点	7.7点	8.3点
体調不良時の休養のため	8.4点	8.6点	8.4点
業務上の利用（打合せ等）	7.3点	6.7点	7.7点
教職員同士の交流のため（談話等）	7.9点	7.6点	8.1点
その他	7.6点	8.8点	7.2点

※性別不明者を除いています。

⑥ 利用者のご意見・ご感想（自由記述）

74人からご意見・ご感想をいただき、3つの内容に整理されました。「利用できて助かった」に関する①のご意見が半数を占め、次に「要望・提案」に関する②のご意見が続き、「時間がない等のためあまり利用できない」に関する③のご意見が見られました。

① 利用できて助かった、ありがたかった

- ・急な体調不良時に横になれることができ、大変助かりました。
- ・エアコン、ソファーが整備され、清潔で静かなプライバシーが守られている環境であったため、少しの時間でも快適に過ごすことができたとよかったです。
- ・使う機会は少ないものの、このような部屋が「ある」ことは働く上での安心感が高まり、教職員にとっての「保健室」としても有用であると思いました。
- ・気軽に利用できる環境であるため、打合せや周りに知られたくない相談もリラックスしてできました。
- ・今まで、なかなか教員が休める空間がなかったので、ソファとカーテンがあるだけでも、とてもリラックスできる空間になっています。体調が良くないときに、ゆったり体を休めることができました。
- ・体調が急に变化して具合が悪くなった時、少しでも横になって休める場所があることは、精神的な安心、安全につながると感じました。子供達の笑顔のためには、教職員が笑顔になれる環境が大切だと感じました。
- ・体調不良時に横になれることで安心できました。また心配な症状が出ている時に、休憩時間に血圧を測りに行くこともできました。意識して休憩することの大切さを再認識し、健康に働くためにこのようなスペースが拡充するといいなと考えます。

② 要望、提案

- ・職員室に近い部屋があればベストだが、現時点では難しい。冷蔵庫や電子レンジ、テレビなどがあれば休憩室としても活用しやすくなる。
- ・キッチンの水場と手洗いや歯磨きができる洗面所の2種類があると、よいと思います。
- ・防音になったり鍵がかけられたりすると、よりプライバシーが保護され、心が安らぎます。

- ・男女問わず使いやすい名称であると思います。
- ・空調管理が常にされていたら、もっと利用しやすいです。

◎ 利用したいが時間がない等のため利用できない

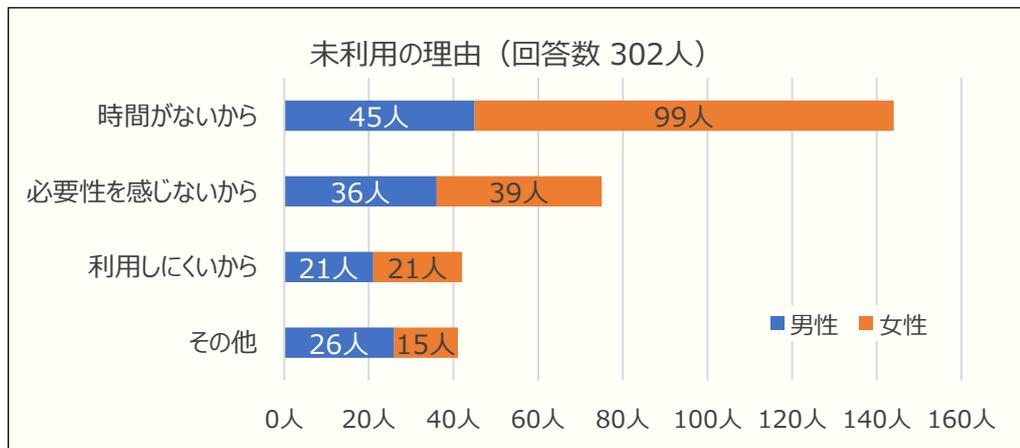
- ・とても快適で、利用したいのですが、利用する時間が取れないのが残念です。
- ・あまり活用できていないので、もったいないと思います。遠慮もありますし、時間がなく、使おうと思う心の余裕がないのが本当の所かもしれません。
- ・体調が思わしくない時以外、なんとなく使用するのに気がひける。設定されている休憩時間帯は、児童対応のため、実際はとれない。違う時間帯にとればいいのかもわからないが、それは他職員に気がひける。とても葛藤してしまう。
- ・休憩時間の利用だと学年会などに重なるので、使いづらいです。放課後はある程度融通を利かせてもらえたら使いやすいと思います。

(3) 未利用者における調査結果

① 未利用の理由（最も当てはまるもの）

「時間がないから」が144人（約48%）と一番多い結果となりました。

なお、学校によっては利用者を女性限定としているため、一部の男性からの回答については、留意する必要があります。



未利用の理由	計	男性	女性
時間がないから	144人	45人	99人
必要性を感じないから	75人	36人	39人
利用しにくいから	42人	21人	21人
その他	41人	26人	15人

「その他」の主な回答内容は『周知・認知不足』や『まだ利用する機会がなかった』ことに関する内容が多く見られました。

- 部屋に対する周知・認知不足
 - ・あること自体知らなかった。
 - ・そもそもマザーズルーム、リフレッシュスペースという言葉は初めて聞きました。
 - ・どういった場合に使用できるのかをよく分かっていない。
- 利用機会が現時点でない
 - ・必要性は感じているが、自分自身は利用が必要な状態になっていないから。
 - ・まだ利用したことはありませんが、今までこうした施設があったらいいなと考えていました。
 - ・今のところ、必要な場面がありませんが、必要なときに使いたいと思っています。
- その他
 - ・男性だから（女性専用のため使えない）。
 - ・変な臭いがするから、使おうとは思わない。
 - ・職員室から遠くて、落ち着かない。

② 未利用者のご意見・ご感想（自由記述）

75人からご意見・ご感想をいただき、4つの内容に整理されました。特に「考え方に理解を示すが利用する時間がない」に関する①のご意見が半数を超えていました。それ以外として「マザーズルームという名称」に関する②のご意見、「利用への疑問」に関する③のご意見や「運用ルール・利用環境」に関する④のご意見が見られました。

① 設置そのものに理解を示すが時間がないため利用できない

- ・体調が悪かったり心を落ち着けたかったりするときに、ほっとゆっくりできる場所があるのはありがたい。しかし、現状としてその時間がないのが本当に辛いと感じる。
- ・設置されていることで利用する方もいる可能性があるのですが、否定はしないが、教員の現在の休憩時間に休憩をしていない労働環境を考えると利用推進をしていくのは難しいと思う。
- ・いざというとき（体調不良など）、体と心を休める場所（子どもたちに保健室があるのと同じように）があるのは、とても助かります。ぜひ今後もこのスペースはあり続けてほしいです。
- ・とってもいい設備だな、と思いつつ、日々の業務に追われ、まだ一度も使ったことがありません。
- ・子育て中ですが、とにかく時間との勝負。のんびりする時間はない。また、子どもの体調のことで、急な休みを取り周りに協力と迷惑をかけることもある中で、リフレッシュルームを使うなんてできない。
- ・搾乳できるスペースはよいと思った。授乳期間や断乳時の方は重宝すると思います。自校のリフレッシュルームは、使うまでにハードルが高い気がして、なかなか入れません。

⑧ マザーズルームという名称

- ・室内の備品を整備することは良いと思うが、部屋名は「休養室」のままで良いのでは？と思いました。「マザーズルーム」と名前がつくことでちょっとした用では使用しづらい印象になりました。
- ・職員数の多い職場で、女性、特に出産にかかわる方が多い中、「なんでもない」男性職員にとっては入りづらい気がしています。
- ・マザーズルームという名前では、たとえ体調不良や一時休息として男女共用で使用できるとしても、男性は使いにくいと思います。
- ・「マザーズ」という文言に違和感を覚えます。未婚者や既婚者でも子がいない方等に配慮した方がよいと考えます。

⑨ 利用への疑問

- ・必要としている人が自由に利用できるのはよいと思う。ただ、生徒を指導する場所が減ってしまい、不都合が生じることがあり、かえって働きにくさを感じている点は、残念に思う。
- ・職場内に長く留まらず、外の世界と交流することがリフレッシュにつながると考えるので、校内のスペースを充実させるというよりは、余暇支援・旅行支援等を充実させてほしい。
- ・休憩するスペースがあることで体調が悪くても一旦休んで様子を見るという動きができるようになっています。本当に具合が悪いときはすぐに帰宅した方がより休めると思うがリフレッシュスペースがあることで逆に無理をさせてしまう場面もあるんだなと感じました。
- ・教職員の休息場として必要だと思いますが、学校によっては空き教室のない学校もあり、その兼ね合いが課題だと思います。

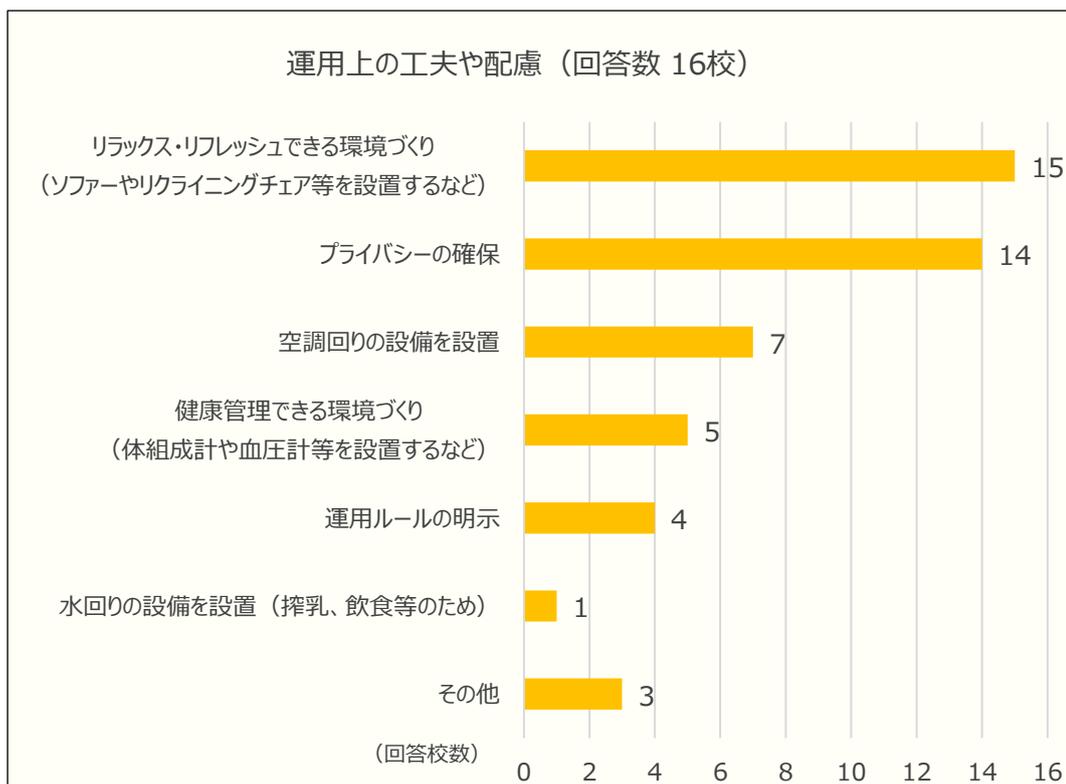
⑩ 運用ルール、利用環境

- ・管理職に一度鍵を貰わないと入れないのが、利用しづらい。部屋自体あることは、何かあった時に利用できるという心の支えにもなるが、何かしら使いやすいやり方があればと思う。
- ・他に利用している人が少なく、使いたくても使いづらい。
- ・鍵がかけられており、管理職に鍵をもらわないと利用できないため利用するハードルがある。いつでも誰でもと言われているが、使っている教員もいまはあまり見かけない。しかし、近い将来妊娠出産を予定しているためその際に職場で利用できるマザーズルームがあるのは嬉しいです。もう少し利用のハードルが下がるとなお嬉しいです。
- ・使用する場合、何かあったのかと周りが不安になるため、使用しづらい。

4 調査結果（学校向け）

(1) マザーズルーム・リフレッシュスペースを運用する上で工夫や配慮したこと（複数回答可）

「リラックス・リフレッシュできる環境づくり」と「プライバシーの確保」を重視して設置していました。

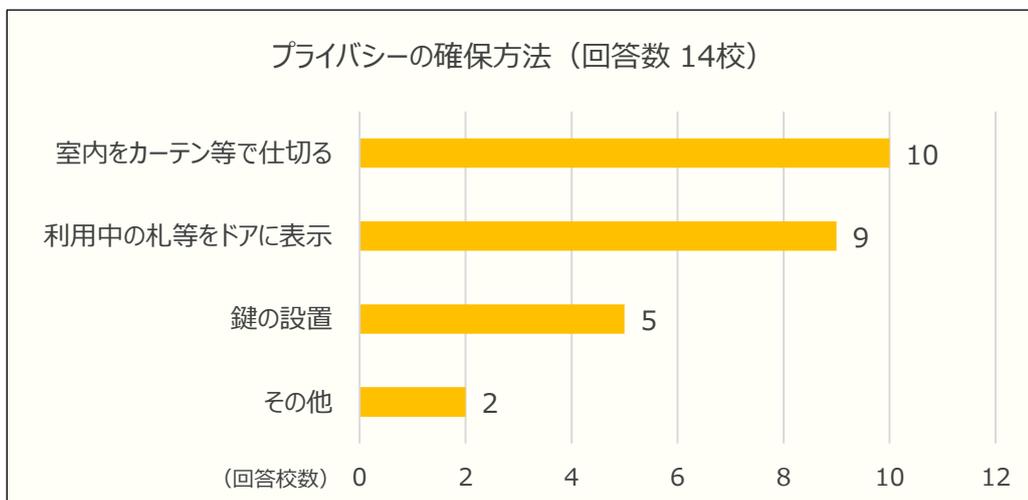


「その他」の主なご意見

- ・搾乳スペース機能の整備（冷凍冷蔵庫・ポット）
- ・体調不良時に休息できる環境づくり（ソファベッド・毛布）
- ・内線電話設備の整備、空気清浄機、充電式クリーナー・コードレス掃除機の設置
- ・保健室の近くに設置
- ・水回りの設備（洗面所・台所・冷蔵庫・トイレ）等の確保
- ・着替えの際に使用できる敷物、休憩の際に使用できるブランケット等を整備
- ・マザーズルームという呼び名では、妊娠中、産育休復帰明け以外の職員から「利用をためらう」との声が多く聞かれたため、別称をつけ「女性ならば誰でも利用できる」旨を周知

(2) プライバシーの確保の方法

(1) の「プライバシーの確保」と回答した学校のうち、どのような方法で対応したかについては、下表のとおりとなりました。(複数回答可)

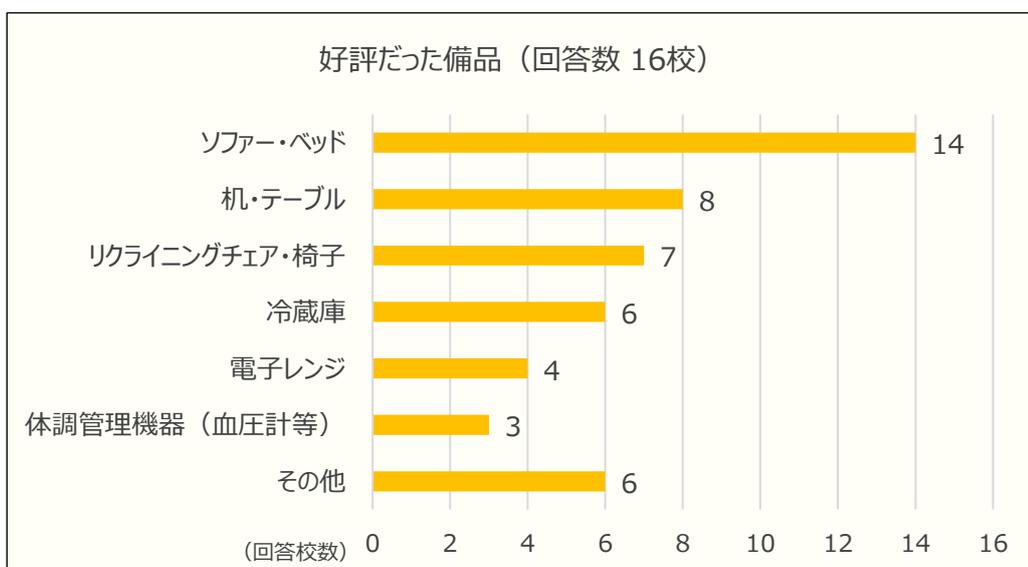


「その他」の主なご意見

- ・運用ルールの工夫 (同一時間の利用は基本的に1名まで)
- ・部屋の使用簿整備と管理職による鍵の貸出し及び職員室にも部屋の利用状況を表示
- ・外に面する窓に遮光カーテンを整備

(3) 好評だった備品 (複数回答可)

教職員がリラックスし、体を休めて横になれる「ソファ・ベッド」及び「リクライニングチェア・椅子」が多い結果となりました。

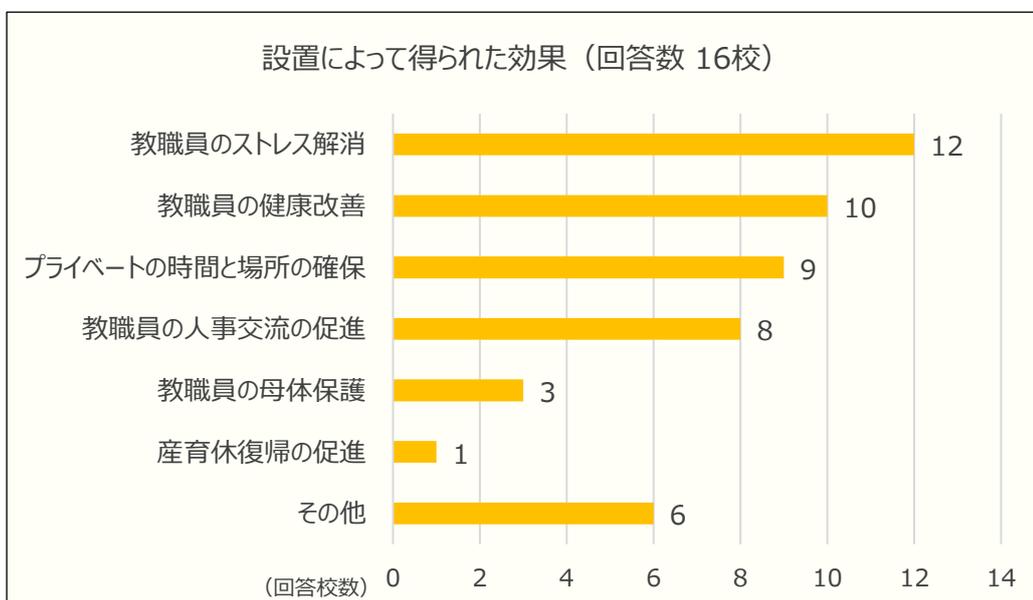


「その他」の主な回答

- ・パズルマット ・ストレッチ用ポール
- ・コーヒーマーカー ・エアコン ・手洗いシンク
- ・畳敷きスペース ・幼児用遊具

(4) 設置によって得られた効果 (複数回答可)

「教職員のストレス解消」が一番多い結果となりました。ほかにも、「教職員の健康改善」、「プライベートの時間と場所の確保」や「教職員の人事交流の促進」も多い結果となりました。



「その他」の主な回答

- ・教職員の心理的な安心感。
- ・育児休業明けの職員から「安心して体を休める事ができた」との声が聞かれた。また、その他の女性職員からも「気持ちの切り替え」や「体力の回復に努めることができた」との声が多く寄せられた。
- ・体調がすぐれない先生の休息場所として確保できた。
- ・学校行事で来校した保護者のおむつ交換場所として使用してもらうことができた。
- ・職員室以外でリラックスしながら少人数の会議を開くことができた。
- ・休業期間中、お昼ご飯などを食べるときに活用できた。
- ・職場の中で休息できる場所ができ、職員のメンタルヘルスの向上に貢献した。

(5) 設置によって生じた課題（自由記述）

「利用時間」に関する課題①、「設置場所」に関する課題②、「利用環境」に関する課題③と「その他」④の4つに整理されました。

① 利用時間

- ・多忙な教職員が利用する時間を取れない。
- ・休業中以外の勤務時間内に使用するケースは少なかった。
- ・夏休み期間中は比較利用しやすかったが、学期が始まった際の利用方法については今後検討が必要。

② 設置場所

- ・執務室から離れた場所にあることで体調不良者の状態を確認しづらい。
- ・職員室から少し離れているので、最近足が遠く傾向にある。
- ・設置する場所が職員室から離れていると、利用頻度が上がりにくい。
- ・保護者の目の付きやすい場所に設置すると、設置しても教職員が利用しにくくなる可能性が高い。

③ 利用環境

- ・女性特有の体調不良等で管理職から鍵を借りる際の心理的ハードルが高い。
- ・マザーズルームという名前が女性職員しか使用できないような印象をもたれてしまっている。
- ・狭いため、少人数での利用となるが、職員自体が少人数のため、あえてリフレッシュルームを使用するよりも職員室で休憩する教職員が多かった。
- ・畳を敷いたが、梅雨時期にカビがはえる。
- ・夏季や冬季にはエアコンを常時稼働させないと、快適な室温でリラックスできないという課題がある。

④ その他

- ・ちょっとした行事の前には一時的な荷物置き場となりがちである
- ・男性職員から「ふぁざーずルームの設置」を希望する声が聞かれた。
- ・設置直後はリフレッシュルームを利用するくらいなら年休を取るという考えの方が多くいたこと。皆の利用が増え、その考えも少しずつ払拭されていった。

(6) 全般の自由意見（自由記述）

主なご意見として、「職場環境の改善」と「施設整備への感謝」がありました。

① 職場環境の改善

- ・本校の施設は、現在は体調不良者の休息場所として多く活用されているが、保育園の入園状況が厳しい中、今後育児休業からの早期復帰を検討する職員が増える可能性もあり、教職員が男女問わず安心して働ける環境整備に大きく貢献していると考えている。
- ・ソファ・エアコンなど、職員がリフレッシュする場として活用させていただいています。現在はマザーズルームとしての活用より、リフレッシュルームとしての活用がメインとなっています。今後とも『憩いの場』として大切に活用させていただきたいと思います。
- ・本校は女性職員が50名程勤務しており、現在は授乳中の職員はいませんが、妊娠を希望している人や女性特有の悩みで利用している人が多くいる。気軽に利用しやすい校内の体制をこれからも整えていきたい。

② 施設整備への感謝

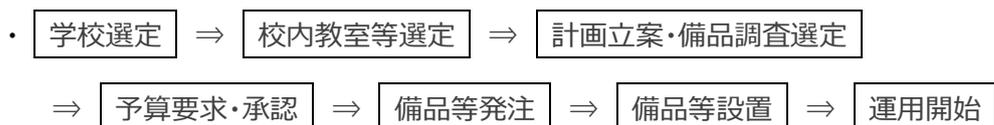
- ・マザーズルームとして整備された部屋は、これまで女子休憩室として使用されていた部屋であるが、以前は空調もなく、無機質で、「体を休める・気持ちを整える場所」という雰囲気ではなかった。現在、多くの女性職員から感謝の声が聞かれ、本当にありがたいと感じている。
- ・マザーズルーム・リフレッシュスペース設置に関わり大変お世話になりました。今後、より一層教職員がリラックスしモチベーションが高まる場所にしていきたいと考えています。引き続き、ご指導ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。
- ・マザーズルーム・リフレッシュスペース設置支援事業に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

5 調査結果（教育委員会向け）

(1) マザーズルーム・リフレッシュスペース設置までの具体的な流れ

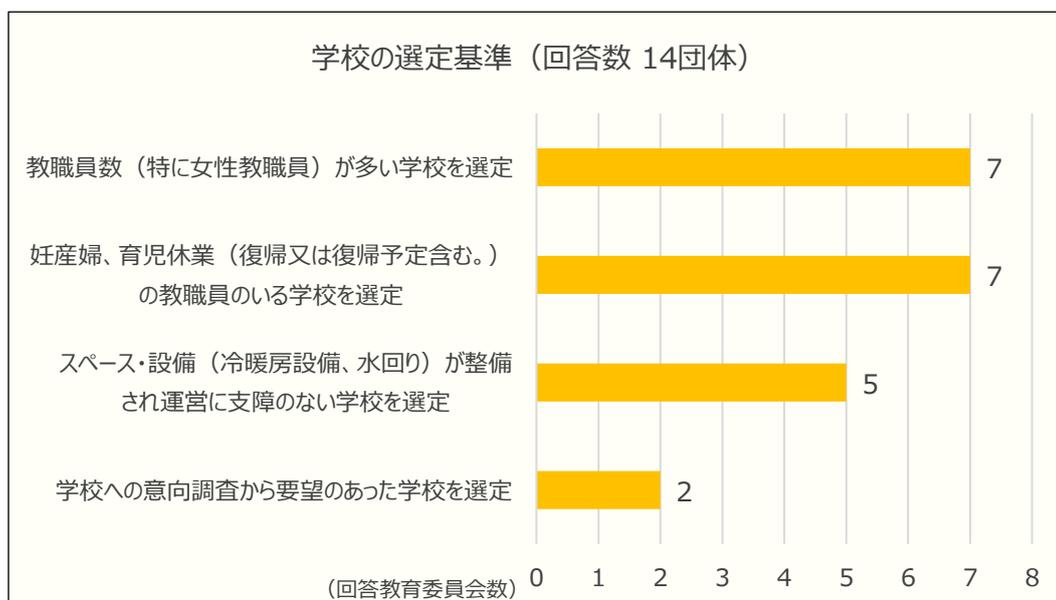
すべての教育委員会の回答内容は、概ね以下のとおりでした。

なお、教育委員会によっては、当共済組合からの費用助成以外に、別途、自治体から費用捻出して備品等整備費に上乘せしているところがありました。



(2) マザーズルーム・リフレッシュスペース設置校の選定基準

下表のとおり整理されました（回答を一部細分化して整理）。



(3) 設置によって得られた効果（今後の運用や他校で実施する際に参考となるもの含む。）

おおむねすべての教育委員会から「職場環境の改善」や「教職員の健康・心理状況の向上」に効果があったという結果となりました。

④ 職場環境の改善、教職員の健康・心理状態の向上

- ・設置により、「体調が悪い時も使用できると思うと安心して働ける」、「このような場所が用意されていること自体がよい」、「体調が悪いときに、横になれて大変ありがたかった」といった声があり、職員の働く上での心理的安全性の創出や健康維持について、効果が得られている。
- ・妊娠中や育児休業から復帰した女性教職員のみならず、体調が優れない女性教職員がマザーズルームを利用することにより、体調の回復に寄与する。
- ・制度の周知により、職場環境改善の意識付けができた。
- ・産休・育休明けの職員の搾乳スペースとしてだけに留まらず、体調を崩してしまったり、具合が悪くなってしまった職員の休憩スペースとしても活用でき、激務の教職員の健康改善等に寄与することができた。
- ・運用の開始から継続して一定の利用があることから、体調不良や生理時に「我慢する必要はない」という考えが広がり、職員がより働きやすい環境づくりにつながっている。
- ・プライバシーが確保されたりリフレッシュできる環境を整備することで、教職員が働きやすい環境を確保することができました。
- ・教職員の心のゆとりができ、業務の効率化が進んでいる。

⑤ その他

- ・職場内において気軽に談笑や相談事を行えるスペースとして、とても有効に活用できる場となっている。
- ・文化祭に来校していた保護者に対し、おむつ交換と授乳のために活用いただくなど、図らずして保護者に対してアピールする機会を設けることができた。
- ・教員間のコミュニケーションを取りやすい環境となり働きやすい職場環境につながっている。
- ・最初に設置する学校が無ければ2校目、3校目と続かないため、第一歩という意味で意義ある設置だったと感じている。

(4) 設置によって生じた課題（今後の運用や他校で実施する際に参考となるもの含む。）
主な回答として、3つの内容に分類されました。

⑥ 利用しやすい環境づくりに関する課題

- ・利用していない理由として、「忙しくて利用する時間がない」、「女性特有の体調不良について、管理職に申告した上で利用するのは、心理的なハードルがある」といった声もあり、職員が利用しやすくなるような働きかけ、ルールづくり等については、今後検討の余地がある。
- ・未利用者の4割弱が業務が多忙であることを理由に挙げており、空間の設置だけでなく、利用が行えるような環境づくりが必要であると考えます。

- ・搾乳スペースとしての利用のほか、休憩でも使用できるよう「マザーズルーム及びリフレッシュスペース」として設置したが、勤務時間中は職務に専念する義務があるためか、利用回数は伸びなかった。せめて、休憩時間中に多く利用してもらえるよう周知すべきだったと感じている。
- ・アンケートの結果や、現場職員からの聞き取りにより、多忙により、休憩をとることに対する抵抗がある教職員がいるため、稼働率の向上には、管理職からの働きかけなどによる、教職員の意識改革が必要であると考えています。
- ・教職員は終日多忙なスケジュールの中で働いているため、マザーズルーム・リフレッシュスペースが教職員にとってできるだけ利用しやすくなるよう、働き方改革等も積極的に推進したい。
- ・利用にあたって「他人の目」が気になるという意見が見受けられたため、設置後の運用にも重点を置き、利用しやすい環境・雰囲気を作る必要がある。

⑧ 設備・設置スペースに関する課題

- ・空き教室のない学校が多く、設置促進の際には、スペースの創出の問題を解決していく必要がある。
- ・設置場所の選定と、快適に過ごせる空間づくり（該当校ではパーティションにより区切ることで解消）。
- ・備品を清潔に保つための整理。
- ・マザーズルームとしての機能を果たすため十分なスペースを確保するのが難しい状況があるため、設置できるものにも限度があり、誰もが利用しやすいスペースとするには、今後の検討が必要。
- ・教職員用更衣休養室にエアコンの設置や備品等の整備だけでなく、更衣休養室の状況によっては、間仕切りの設置や老朽化した内装の改修、電気設備等の改修などをあわせて実施する必要があります。

⑨ 財政・予算に関する課題

- ・今後の備品の更新にかかる費用。
- ・マザーズルーム設置校を拡大するには、財政的支援の拡充が必要である。
- ・全校展開する場合、予算の確保は困難と感じている。
- ・同じ自治体内でマザーズルーム・リフレッシュスペースが設置されている学校と設置されていない学校があることに不公平感が生じることが危惧されます。
- ・教職員のリフレッシュのための設備投資という理由では、予算要求が難しい現実がある。

(5) 全般の自由意見（自由記述）

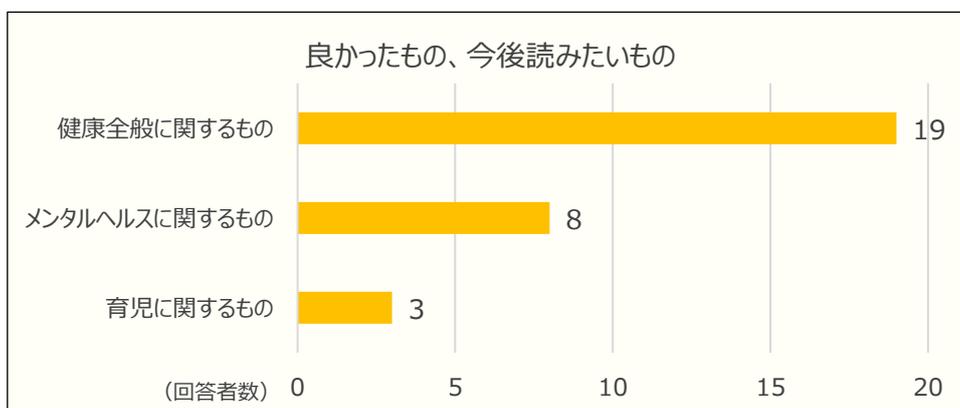
主なご意見・ご感想については、以下のとおりです。

- ・産前産後の職員以外にも、学校では、教職員の休憩スペースがない、休憩時間を実質取れない等あるため、マザーズルーム又はリフレッシュスペースの設置促進は、これらの課題解決の糸口になり得ると考える。
- ・この取り組みについては、女性の健康などをケアする「フエムケア」に関する取り組みとして、有益であると考えており、各学校のニーズがあれば拡張していきたいと考えております。
- ・全ての教職員がマザーズルーム・リフレッシュスペースを気兼ねなく利用できる学校の雰囲気醸成すべく、教育委員会としても業務の見直し（働き方改革）等を更に積極的に進める必要があります。教職員の皆様方にとってより働きやすい職場を目指して取り組んで参ります。

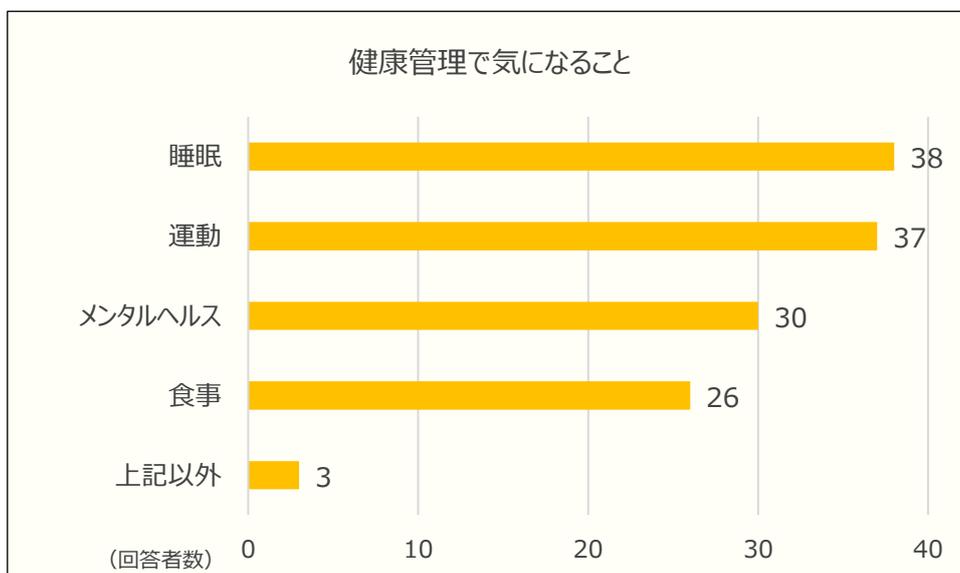
6 調査結果（情報提供に対する確認）

（1）情報提供内容に対する教職員の回答（複数回答可）

諸事情により全校に確認できなかったことを踏まえ、参考情報として取り扱う必要がありますが、健康全般に興味を持っている教職員が多いという結果となりました。



また、ご自身の健康管理で気になることについては、睡眠と運動に留意している回答が多いという結果となりました。



（2）情報提供をきっかけとした健康づくり支援

情報提供を行った支部に対し、学校からの反応や支部から継続してアプローチしていること等確認したところ、一部の学校に対して個別に連絡（支部事業への要望等）をとっていた例はありましたが、特筆すべき点は見られませんでした。

7 考察及び提言

(1) 考察

- ① 教職員向け調査結果より、利用者の満足度は高く、特に「体調不良時の休養」や「休憩のため」に活用されたケースでは、安心感や快適さが得られていることが確認でき、「あるだけで安心できる」、「保健室のような存在」といった肯定的なご意見が多く寄せられていました。

一方で、利用頻度は高くなく、特に「時間がない」というご意見が多く、また「使いづらい」、「名称に違和感がある」といったご意見もあり、心理的・物理的なハードルが存在していたことも確認できました。

なお、未利用者にとって、マザーズルーム・リフレッシュスペースの設置については、賛同しつつも、「利用したくても利用する時間がない」というご意見が多かったことに留意する必要があります。

- ② 学校向け調査結果より、設置によって「ストレス解消」や「健康改善」に寄与していることや、「プライベートの時間や場所の確保」に寄与しているといったご意見もあり、職場の環境改善につながっていることが確認できました。運用に当たっては、「プライバシーの確保」や「リラックスできる環境づくり」などの工夫がなされていることも確認できました。

課題としては、「利用時間がとれない」、「設置場所が遠い」や「名称が限定的で使いづらい」などのご意見がありました。

- ③ 教育委員会向け調査結果により、設置によって教職員の「心理的な安心感」が創出され、「体調不良時の休憩・リフレッシュの場」としての有効性が確認できました。

一方で、「休むことへの抵抗感」や「申告制による運用ルールへの心理的ハードル」など、文化的・制度的な課題も指摘されてきました。また、財政面やスペース確保の困難さも今後の普及に向けた障壁となっていることが確認できました。

- ④ 以上のことから、マザーズルーム・リフレッシュスペースの設置は、教職員の健康維持・職場環境改善に大きく寄与する施設であることが各調査から明らかになりました。

一方で、利用促進には「時間的余裕」、「心理的安全」や「制度的柔軟性」が不可欠であり、名称や設置場所、運用ルールなどの工夫が求められ、今後は、誰もが気軽に利用できる「教職員の保健室」としての機能を強化し、働き方改革の一環として定着させていくことが重要です。

(2) 提言

マザーズルーム・リフレッシュスペースの設置に当たっては、教職員、学校及び教育委員会から得られた調査結果を踏まえ、以下の点に留意することが、教職員の健康維持及び職場環境改善に資する重要なポイントとなります。すべての項目を一律に満たすことは困難であると考えられますが、可能な範囲での工夫と配慮が望まれます。

① 設置場所の工夫

職員室から比較的近く、児童・生徒や保護者の動線から離れた場所に設置することで、利用しやすさと安心感の両立が図れます。空き教室がない場合でも、既存の教室や職員室の一角を整備することでも一定の効果が期待できます。

② 運用ルールの柔軟化

利用時に特定の者への申請が必要な運用は心理的なハードルとなっているため、可能な限り申請不要で利用できる仕組みが望まれます。また、利用に当たって罪悪感を抱いている様子が見受けられたため、利用者が特定されにくい環境づくりも重要です。

③ 物理的環境の整備

冷暖房設備の常設（該当部屋の利用の際に温度調整するのではなく、常時、室温が保たれているとなお望ましい。）、ベッドやソファの設置、水回りの整備など、快適で衛生的な空間づくりが求められます。加えて、清潔さや臭い、湿度、備品の維持管理にも配慮が必要です。

④ 心理的安全性の確保

鍵付きの扉や遮光カーテン、パーテーションなどにより、プライバシーが守られた空間を提供することで、安心して利用できる環境が整います。

⑤ 周知・広報の充実

設置目的や利用方法、運用ルールなどを明確に周知することで、利用機会の損失を防ぎ、誰もが気兼ねなく利用できる雰囲気づくりが促進されます。

⑥ ネーミング

「マザーズルーム」という名称が特定の利用者層を想起させることがあるため、誰でも利用しやすい名称や愛称の検討が効果的です。名称による心理的な制約を避ける工夫が求められます。

⑦ 費用面の工夫

高額な施設工事を行わなくても、既存施設の活用や段階的な整備など、予算に応じた柔軟な対応が可能です。文部科学省の「学校施設環境改善交付金*」などの制度の活用もご検討ください。

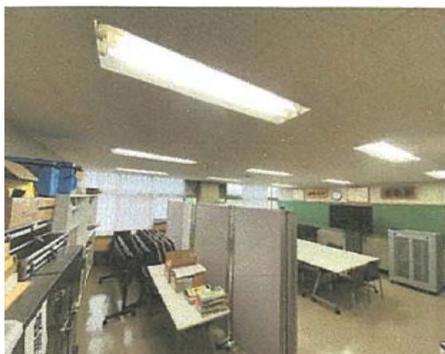
*助成対象の工事費は400万円以上のため、他の工事と組み合わせる等の工夫が必要です。

当事業にご協力いただいた各教育委員会・学校の設置事例

(以下内容は施設の設置時点の情報です。)

1 佐呂間町教育委員会

(1) 設置前及び設置後



(2) 基礎情報

学校名	佐呂間町立佐呂間中学校
児童・生徒数	114 人
学級数	5 組
教職員数	21 人
設置前の用途	会議室
設置に係る総事業費	652,322 円
運用開始日	令和 5 年 9 月 21 日
名称等	やすまある (リフレッシュスペース)

(3) 主な購入備品

- ・エアコン
- ・空気清浄機
- ・パーテーション
(ドア等含む。)
- ・カーペット

(4) 設置の目的・経緯等

教職員の働き方改革のための環境整備を行い、教職員の健康の保持増進を図ることを主として、学校訪問者の授乳等の際にも利用できるよう、多機能に利用することを目的としている。

現在、佐呂間中学校には、育児休業中の女性教員がおり、来年度から復帰予定である。当該教員が復帰するにあたり、気兼ねなく安心して育児に係ることができるよう、最大限プライバシーに考慮した空間を設置することは極めて有益であると考えていたところである。併せて、教職員が日常的にリフレッシュできる空間があれば、様々な場面で活用でき、非常に有益と考えていたものの、要望を行うまでには至っていなかったところであるが、この度の公立学校共済組合の新規事業が、佐呂間中学校における要望と合致したものである。

※ 当共済組合による学校訪問時の取材内容 (一部抜粋)

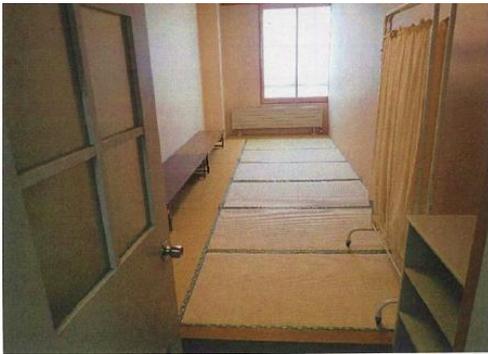
今回、当共済組合の事業を活用することで、産休や育休明け教職員の搾乳等や全教職員のリフレッシュのためのスペースを整備したり、必要な備品を購入したりして、このルームを設置しました。

ルームの内装などは、教職員が自ら考案したとのことで、「自分たちのスペース」として快適に過ごすための工夫が随所に見られます。利用されている先生からは、「職員室とは違った空間で、他の教員と話ができるのはありがたい。教員同士の交流も広がった。」「こういうスペースがあることは、安心して職場復帰できるきっかけになる。」という感想をいただくことができました。

「先生方の利用はもちろんのこと、コロナ禍後の学校は、再び地域に向けて開いていくこととなるので、いろいろな可能性があるスペースとして、利用していければ」と安田校長も話されていました。

2 青森県教育委員会

(1) 設置前及び設置後



(2) 基礎情報

学校名	青森県立青森西高等学校
児童・生徒数	706 人
学級数	18 組
教職員数	60 人
設置前の用途	女子休憩室
設置に係る総事業費	507,100 円
運用開始日	令和 5 年 9 月 25 日
名称等	(女子休憩室と兼用のマザーズ ルーム・リフレッシュスペース)

(3) 主な購入備品

- ・ロビーチェア
- ・1人用ソファ
- ・テーブル
- ・パーテーション
- ・収納棚
- ・冷蔵庫
- ・電子レンジ

(4) 設置の目的・経緯等

育児休業から復職した職員のための搾乳スペースがないことから、女子休憩室内に当該スペースを設置するとともに、併せて、当該職員及びその他女性職員の心身の健康に資するリフレッシュスペースを同休憩室内に設置し、働き方改革の一助とする。

※ 当共済組合による学校訪問時の取材内容（一部抜粋）

今回、当共済組合の事業を活用することで、出産休暇や育児休業明けの教職員が搾乳等を行うためのスペースが整備され、休憩室をマザーズルームとしても使用できるようになりました。併せて、女性職員の健康維持や健康回復に貢献できるようにリフレッシュスペース・休憩室としての機能も拡充しました。

休憩室のリニューアルに向けて実施した職員アンケートでは、「育児休業から復職してどこで搾乳すればいいのかと思っていた」という声もあり、マザーズルームとしての活用が期待されています。

また、利用した職員からは、「ソファ等が設置されて、以前よりも落ち着いて休めるようになった」という感想をいただき、心身のリフレッシュにも貢献しています。

3 君津市教育委員会

(1) 設置前及び設置後



(2) 基礎情報

学校名	君津市立小糸小学校
児童・生徒数	276人
学級数	16組
教職員数	26人
設置前の用途	相談室
設置に係る総事業費	500,456円
運用開始日	令和5年12月1日
名称等	(マザーズルーム・リフレッシュスペース)

(3) 主な購入備品

- ・ソファーベッド
- ・サーキュレーター
- ・フォールディングパネル
- ・エアコン
- ・加湿空気清浄機
- ・充電式掃除機
- ・電気魔法瓶
- ・上腕式電子血圧計
- ・ミラー

(4) 設置の目的・経緯等

教職員の働き方改革のための職場環境の整備の一環として、君津市立小糸小学校 管理教室棟内の1室を使用し、教職員の健康維持・健康回復等のためにマザーズルーム等を設置しようとするもの。設置については、教職員の配置状況、施設の状況を鑑み、君津市立小糸小学校に設置することとしたもの。

※ 当共済組合による学校訪問時の取材内容（一部抜粋）

当共済組合の事業を活用することで、産前・産後休暇や育児休業明け教職員の搾乳等や全教職員のリフレッシュのためのスペースとして保健室横の相談室を改装し、必要な備品を購入して、このルームを設置しました。

ルームの内装などは、教頭先生が中心となって考えられ、ピンクを基調としたかわいらしい内装となっています。

「体調が悪くとも休む場所がなかった先生の休憩場所としての利用や、妊娠中または出産後に職場復帰される先生が安心して教壇に立てるように、との強い思いにより実現した。先生が気軽に休める空間となれば。また、子どもたちにも、このような部屋があることを伝えていきたい。」と細家校長も話されていました。

4 世田谷区教育委員会

(1) 設置前及び設置後



(2) 基礎情報

学校名	世田谷区立八幡小学校
児童・生徒数	339人
学級数	12組
教職員数	21人
設置前の用途	ランチルーム
設置に係る総事業費	483,446円
運用開始日	令和6年2月1日
名称等	TAR (TA=やはた・たのしい・たたみ R=ルーム) (リフレッシュスペース)

(3) 主な購入備品

- ・畳ベンチベッド
- ・カフェテーブル
- ・ブライウッドチェア
- ・パーテーション
- ・冷蔵庫
- ・加湿空気清浄機
- ・電気ケトル
- ・電波目覚まし時計
- ・光触媒人工樹木
など

(4) 設置の目的・経緯等

教職員の働き方改革のための職場環境の整備の一環として実施している。

なお、多湿環境で部屋の壁紙等にもカビが発生しやすい環境であり、教職員のリフレッシュを主たる目的のひとつとしているため、空気清浄機等も活用しながら、可能な限りよりよい環境状態を保てるよう配慮する。

※ 当共済組合による学校訪問時の取材内容（一部抜粋）

「TAR（タールーム）」の名称は、TA＝「やはた・たのしい・たたみ」、R＝「ルーム」の意味が込められています。

設置に当たっては、当共済組合の事業を活用して必要な備品を購入し、教職員がリフレッシュできるスペースとしました。

衛生面を考慮し、ゴミ箱を設置せずごみは各自で持ち帰ることとしたり、カーベットは敷かずに畳ベンチとするなど、TARを清潔に運用するための工夫が見られます。

同校で働いている先生からは、「体調が悪くなった時のために、TARがあるという安心感がある」という感想をいただいています。

5 八王子市教育委員会

(1) 設置前及び設置後



(2) 基礎情報

学校名	八王子市立いずみの義務教育学校
児童・生徒数	1,287人
学級数	45組
教職員数	97人
設置前の用途	特別支援教室
設置に係る総事業費	499,231円
運用開始日	令和5年8月28日
名称等	いずみのほっとルーム（リフレッシュ&リカバリールーム）

(3) 主な購入備品

- ・ソファーベッド
- ・ダイニングテーブル
- ・椅子
- ・遮光カーテン
- ・やわらか EVA マット
- ・冷凍冷蔵庫
- ・フットマッサージャー
- ・手首式血圧計
- ・フェイクグリーン など

(4) 設置の目的・経緯等

職場環境の整備の一環として、多忙な教職員の健康維持・健康回復を目的とする部屋を設置する。現在、本校には教職員が体調不良時等に休息するための「保健室」に相当する部屋がない。そのため、教職員が、体調不良時や疲労蓄積時に一時的に休息して、体調を回復できる場所を整備し、健康維持・健康回復に役立つ。同時に、女性教職員が産後早期に復職する場合に備え、搾乳スペースとしての機能を整備する。また、教職員が休憩時間等にリフレッシュできるスペースとしても活用する。

※ 当共済組合による学校訪問時の取材内容（一部抜粋）

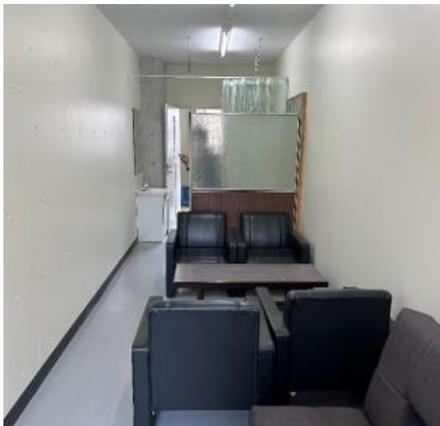
今回、党共済組合の事業を活用することで、産休や育休明けの教職員が搾乳等を行うためのスペース整備や、すべての教職員の健康維持、健康回復やリフレッシュに役立つ備品を購入し、ルームを設置しました。

「教職員には子どもたちの安心・安全を守ることが求められるが、その教職員自身も安心して働けるような職場づくりが必要であり、その一環として今回の施設整備を行いました。」と同校の中嶋校長先生は話しています。

この「いずみのほっとルーム」の名称は、忙しい先生たちが「ほっとできる」「あたたかい（HOT）」と思えるような部屋になるよう、開設に尽力した職員が中心となって名付けました。

6 石川県教育委員会

(1) 設置前及び設置後



(2) 基礎情報

学校名	石川県立金沢錦丘中学校
児童・生徒数	360人
学級数	9組
教職員数	22人
設置前の用途	女性休憩室
設置に係る総事業費	1,556,170円
運用開始日	令和6年1月5日
名称等	ほっこりルーム（女性休養室）

(3) 主な購入備品

- ・リクライニングチェア
- ・テーブル
- ・カーテン
- ・棚（軽作業・書類格納・食器用）
- ・扇風機・ヒーター
- ・電子レンジ
- ・照明
- ・IHコンロ など

(4) 設置の目的・経緯等

育児休業から復帰した母乳育児中の女性等が、安心して搾乳や体のケアなどを行うことができる職場環境づくり

※ 当共済組合による学校訪問時の取材内容（一部抜粋）

当共済組合の支援による備品購入と併せて、石川県においてもエアコンや水回り設備を設置し整備されたとのことでした。

実際に利用した先生からは、「ゆったりできる空間。一人になって、ほっと一息ついて、また仕事に戻ることができるのはありがたい。」という感想をいただきました。

女性専用としていますが、マザーズルームとしての用途に限らず、女性教職員なら誰でもいつでも気軽に利用できるように「ほっこりルーム」の愛称で呼んでいるとのことでした。

嶋校長は「妊娠中や育児休業から復帰した女性教職員だけでなく、体調の優れない女性教職員にも利用してもらい、体調の回復に寄与してもらえれば。」と話されていました。

7 加賀市教育委員会

(1) 設置前及び設置後



(2) 基礎情報

学校名	加賀市立錦城小学校
児童・生徒数	325 人
学級数	14 組
教職員数	25 人
設置前の用途	宿直室・校務室
設置に係る総事業費	486,551 円
運用開始日	令和 6 年 4 月 8 日
名称等	(マザーズルーム)

(3) 主な購入備品

- ・ソファベッド
- ・丸テーブル
- ・和風衝立
- ・クッションフロア
- ・カラーボックス、バスケット
- ・スタイルハンガー
- ・ロールスクリーン
- ・ルームエアコン
- ・照明器具 など

(4) 設置の目的・経緯等

現在錦城小学校は、妊娠中の教員 2 名、育産休中の教員 4 名、育休明けの教員が 1 名在籍し、妊娠中あるいは産・育休明けの教職員のための休憩及び搾乳スペースが必要な状況であるため。

※ 当共済組合による学校訪問時の取材内容（一部抜粋）

元々は宿直室および校務員室として利用していましたが、湯沸かしなどの水回りをそのまま生かせることと、トイレや保健室から近いことから、マザーズルームとして整備したとのこと。

また、導入に当たっては、妊娠中や産休・育休明けの職員が横になれるようにソファベッドを設置し、入口から部屋の中が見えないようにつたてを置くなど、休む方の立場に立って準備を進めたとのこと。

坂口校長は「以前は、教職員が体調不良になると校長室で休んでもらっていた。マザーズルームという名称だが、男性教職員も休憩場所として利用してほしい。また、打ち合わせスペースとしても有効活用してもらいたい。」と話されていました。

8 東浦町教育委員会（2校実施）

（1）設置前及び設置後



（2）基礎情報

学校名	東浦町立片葩小学校
児童・生徒数	378人
学級数	15組
教職員数	29人
設置前の用途	教室
設置に係る総事業費	215,930円
運用開始日	令和6年3月22日
名称等	(リフレッシュスペース)

（3）主な購入備品

- ・ラウンジチェア背付
- ・カーテン
- ・衝立式パネル

（4）設置の目的・経緯等

教職員が休憩できるスペースを設置する。

※ 当共済組合による学校訪問時の取材内容（一部抜粋）

片葩小学校では、これまで教職員は体調不良時には保健室で休むしかなく、児童も利用することから安心して休めるような環境ではなかったそうです。今回、教職員が休むための場所が整備されたことで、実際に体調が悪くなった先生に対して「リフレッシュスペースで少し休んでおいで。」と声掛けをすることができたというお話が印象的でした。

9 東浦町教育委員会（2校実施）

（1）設置前及び設置後



（2）基礎情報

学校名	東浦町立東浦中学校
児童・生徒数	794人
学級数	27組
教職員数	55人
設置前の用途	職員室
設置に係る総事業費	124,730円
運用開始日	令和6年3月22日
名称等	（職員室内にリフレッシュスペース）

（3）主な購入備品

- ・カーテンスクリーン
- ・スピーカー
- ・カプセル式コーヒーメーカー

（4）設置の目的・経緯等

教職員が休憩できるスペースを設置する。

※ 当共済組合による学校訪問時の取材内容（一部抜粋）

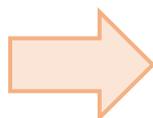
東浦中学校では、職員室の柱の陰になっている場所に、カーテンパーテーションで囲った区画をリフレッシュスペースとして整備しました。コーヒーマシンとBluetoothのスピーカーを設置し、忙しい業務の中でも気軽に一息つけるような場所になっているということことです。空き教室を確保することが困難でも、区画を整備することで休憩の質が向上したというお話を伺うことができました。

10 吹田市教育委員会

(1) 設置前及び設置後



(男性用)



(女性用)



(2) 基礎情報

学校名	吹田市立千里第二小学校
児童・生徒数	1,103 人
学級数	41 組
教職員数	55 人
設置前の用途	教職員用休養室
設置に係る総事業費	468,594 円
運用開始日	令和 6 年 3 月 15 日
名称等	(教職員用休養室)

(3) 主な購入備品

- ・ソファー
- ・パーテーション
- ・スタンドミラー (姿見)
- ・毛布
- ・ゴミ箱
- ・ルームエアコン
- ・冷蔵庫
- ・電子レンジ

(4) 設置の目的・経緯等

現状の教職員用更衣休養室にはエアコン等の設備がなく、体調不良時の一時的な休養や妊娠中、産後休暇や育児休業明け等で配慮を必要とする際に活用できるものとなっていないため、教職員の働き方改革のための職場環境整備の一環として必要な備品等を整備し、マザーズルーム等の機能を備えた更衣休養室として環境改善を図る。

※ 当共済組合による学校訪問時の取材内容 (一部抜粋)

既存の教職員用更衣休養室に必要な備品を設置することで、体調不良時の一時的な休養な妊娠中、産後休暇や育児休業明けに利用できるスペースを整備したとのこと。

また、導入に当たっては、男性休養室と女性休養室の設備が異なることに不公平感が生じないよう、教職員をはじめとした関係者に対しては丁寧に周知を図ったそうです。

「今、ちょうどおめでたの職員がいるので、早速利用してもらおうと思っている。このタイミングで整備できたのはありがたかった。」と郷校長も話されていました。

11 東大阪市教育委員会

(1) 設置前及び設置後



(2) 基礎情報

学校名	東大阪市立成和小学校
児童・生徒数	992人
学級数	38組
教職員数	57人
設置前の用途	相談室
設置に係る総事業費	483,325円
運用開始日	令和6年4月1日
名称等	のびのびルーム（マザーズルーム・リフレッシュスペース）

(3) 主な購入備品

- ・3人掛ソファ
- ・アームチェア
- ・パイプチェア
- ・キャスター付安定脚
- ・テーブル
- ・センターテーブル
- ・ローパーテーション

(4) 設置の目的・経緯等

設置の目的は、産前及び育休復帰後の女性教職員の母性保護並びに教職員の健康増進と職場環境の改善である。

設置校は大規模校ゆえ教職員数も多く必然的に育児休業から復帰する教職員も多い。しかしながら、ハード面の老朽化等の課題もあり、そういった教職員のスムーズに職場復帰や復帰後の支援、あるいは産休前の教職員の母性保護等に課題があった。

このような課題を解決するため、また、教職員の働き方とそれに付随する様々な課題を解決するために本事業を活用し、課題の解消を図るもの。

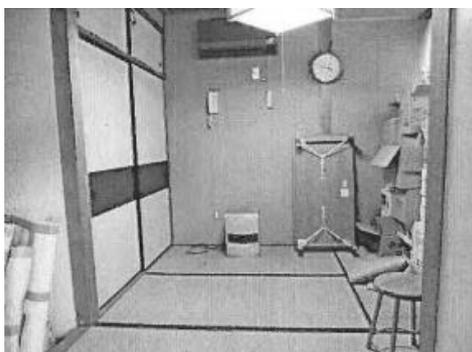
※ 当共済組合による学校訪問時の取材内容（一部抜粋）

他の教室から離れた静かな環境であることやエアコンが設置されていることから、元々は相談室のひとつとして利用していた部屋を活用しました。ルーム前方に教職員同士での相談や雑談時に使えるスペースを整備し、パーテーションで目隠しされたルーム後方には体調不良時の一時的な休養や妊娠中、産後休暇や育児休業明けに利用できるスペースを整備しています。

「教職員が落ち着いた環境で共用したり交流したりする場所を整備できたことがよかった。」と杉本校長は話されていました。

12 廿日市市教育委員会（2校実施）

（1）設置前及び設置後



（2）基礎情報

学校名	廿日市市立原小学校
児童・生徒数	58人
学級数	6組
教職員数	15人
設置前の用途	休憩室
設置に係る総事業費	248,528円
運用開始日	令和6年2月1日
名称等	(リフレッシュルーム)

（3）主な購入備品

- ・ソファベッド
- ・ローテーブル
- ・カーテン
- ・畳・ふすま（一式）
- ・姿見
- ・冷蔵庫
- ・電子レンジ
- ・照明

（4）設置の目的・経緯等

本校は築年数 55 年と古く、地形の複雑なところに建てられていて造りも独特である。休憩室は設置されていたが、休憩室として必要な備品はなく、給湯設備も不具合が起き、近年作業室兼倉庫のように使われていた。

職員が体調不良等で体を休めようと思った時、保健室で休むか、女子更衣室にある長椅子で横になるかしかなく、対応に苦慮していた。昨年度は病休や育休などから復帰したばかりの職員がちょっと体を休めたいという状況が度々あり、休憩室としてきちんと機能する部屋の必要性が高まっていた。

給湯設備については、今年度修理をして使うことができるようになった。そこで、この機会に清潔で利用しやすいリフレッシュルームを整備し、職員の健康維持やリフレッシュを支援しようと考えた。また、本校でも若い女性教職員が増え、今後マザーズルームとしての利用も十分考えられる状況となっている。

リフレッシュルームを設置しようとしている部屋は 4.5 畳の畳張りの部屋で、隣の続き部屋に給湯室とシャワールームがある。古いエアコンも設置されている。教室棟の 2 階の端、職員室の真下にあり静かな部屋となっている。内部環境が整備されれば十分に機能すると考えられる。

※ 当共済組合による学校訪問時の取材内容（一部抜粋）

元々は備品の保管に使用していた部屋の畳を新しくし、昼休憩や夕方に複数名で食事ができるようにテーブルを置いて、休憩室として整備されたそうです。また、急な体調不良の際に横になれるように大きめのソファなど、実際に休憩室を利用する先生方にアンケートを取って設置する備品の選定をされたとのことでした。

原小学校の齊藤校長は、「昼食時など限定的な利用が多いため、心身ともに健康的に働けるような利用方法を模索したい」とお話されていました。

13 廿日市市教育委員会（2校実施）

（1）設置前及び設置後



（2）基礎情報

学校名	廿日市市立廿日市中学校
児童・生徒数	544 人
学級数	17 組
教職員数	54 人
設置前の用途	前室
設置に係る総事業費	209,814 円
運用開始日	令和 6 年 2 月 29 日
名称等	(リフレッシュルーム)

（3）主な購入備品

- ・ソファベッド
- ・ロッキングチェア
- ・ローテーブル
- ・マットレスシングル
- ・畳
- ・クッション

（4）設置の目的・経緯等

本校は、教職員の退校時間が遅く、時間外在校時間が経過している教職員が増加している。80 時間を超えた教職員が毎月行っている「労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリスト」からも、疲労が蓄積している傾向があることが伺える。そこで心身の疲労回復のため、校内に休憩・休息ができる場所が必要であると考えた。

※ 当共済組合による学校訪問時の取材内容（一部抜粋）

元々は備品の保管に使用していた部屋の畳を新しくし、昼休憩や夕方に複数名で食事ができるようにテーブルを置いて、休憩室として整備されたそうです。また、急な体調不良の際に横になれるように大きめのソファなど、実際に休憩室を利用する先生方にアンケートを取って設置する備品の選定をされたとのことでした（原小学校と共通内容）。

廿日市中学校の岡本校長は、「休憩時間に先生同士が一緒になると、お互いが休憩中でプライベートな時間という意識になり、自然とコミュニケーションが増えている印象がある。」とお話されていました。

14 府中市教育委員会

(1) 設置前及び設置後



(2) 基礎情報

学校名	府中市立府中学園 (義務教育学校)
児童・生徒数	787 人
学級数	34 組
教職員数	78 人
設置前の用途	ミーティングルーム
設置に係る総事業費	481,940 円
運用開始日	令和 6 年 2 月 16 日
名称等	オアシスルーム (マザーズルーム・ リフレッシュルーム)

(3) 主な購入備品

- ・ソファベッド
- ・イス
- ・テーブル
- ・絨毯 (カーペット)
- ・ブックセルフ
- ・パーテーション
- ・冷蔵庫
- ・電子レンジ
- ・電気ストーブ
- ・空気清浄機 など

(4) 設置の目的・経緯等

学校にマザーズルーム・リフレッシュルームを設置することとて、教職員の職場環境の改善に役立てる。搾乳及び生理、更年期等の体調不良時の休憩のほか、男性職員の休息にも使用できるよう配慮する。

※ 当共済組合による学校訪問時の取材内容 (一部抜粋)

マザーズルーム・リフレッシュスペースとして「オアシスルーム」が設置されました。部屋の備品選定に当たっては、特に女性教職員の意見を参考にして準備をすすめたとのこと。

オアシスルームは、女性教職員の搾乳時や体調不良時に優先的に利用されていますが、男性教職員も休憩時間に利用することができます。

渡部校長は「とにかく先生のために休める場所を確保したかったので、今回の話はとてもありがたかった。先生方が気軽に利用し、リフレッシュして業務に戻れるよう、今後も運用を検討していきたい。」と話されていました。

15 西予市教育委員会

(1) 設置前及び設置後



(2) 基礎情報

学校名	西予市立宇和中学校
児童・生徒数	464人
学級数	15組
教職員数	45人
設置前の用途	相談室
設置に係る総事業費	508,500円
運用開始日	令和6年3月11日
名称等	ちょこリラ (リフレッシュスペース)

(3) 主な購入備品

- ・ソファ
- ・スツール
- ・ミーティングチェア
- ・テーブル
- ・衝立・衝立式パネル
- ・カフェワゴン
- ・カーテン
- ・クッション など

(4) 設置の目的・経緯等

学校で働く教職員等が心身ともに健康で安心して働ける環境を整備し、職場環境の改善につなげる一環として、教職員の健康維持、健康回復等のためのマザーズルーム、リフレッシュルームを市内中学校で最も規模が大きい西予市立宇和中学校に設置する。

※ 当共済組合による学校訪問時の取材内容 (一部抜粋)

リフレッシュスペースとして「ちょこリラ」が設置されました。

導入に当たっては、養護教諭である井上先生が中心となり、同僚である先生の意見や選考設置している学校などの情報をもとに、忙しい先生たちがちょっと一息つける空間づくりを目指されたとのこと。

「先生が座って足を伸ばせる場所が学校内にはなかったが、ちょこリラができて、リラックスできる環境が整備できた。ちょっとした気分転換や打合せなどに利用していければ」と岩本校長も話されていました。

また、実際に利用した先生からは、「リフレッシュできてありがたい。心身を整えた上で必要な業務を行うことができる。」と感想をいただきました。

16 北九州市教育委員会

(1) 設置前及び設置後



(2) 基礎情報

学校名	北九州市立ひびきの小学校
児童・生徒数	1,454 人
学級数	49 学級
教職員数	72 人
設置前の用途	相談室
設置に係る総事業費	437,360 円
運用開始日	令和 6 年 2 月 16 日
名称等	(女性用リフレッシュルーム)

(3) 主な購入備品

- ・リクライニングパーソナルチェア
- ・マッサージシート
- ・キッチンカウンター
- ・クロスパーテーション
- ・二枚合わせ布団
- ・冷蔵庫
- ・電子レンジ
- ・血圧計 など

(4) 設置の目的・経緯等

教職員の職場環境の改善のため。

※ 当共済組合による学校訪問時の取材内容（一部抜粋）

今回、当共済組合の事業を活用することで、産休や育休明け教職員の搾乳等や女性の教職員のリフレッシュのためのスペースとして相談室を改装し、必要な備品を購入して、このルームを設置しました。

導入に当たっては、校長先生や教頭先生が中心となりましたが、全教職員からアンケートを取るなど、教職員みんなで作るということを意識されたとのことでした。

「女性の教職員が多い職場のため、休養できる部屋を設置できたのは非常にありがたかった。教職員が休憩のために使用するのはもちろんだが、用途を限定せずいろいろな使い方を考えていければ。」と坂田校長も話されていました。

<参考>

「共済フォーラム（令和7年3月号）」掲載記事に対するご意見

当共済組合の広報誌である「共済フォーラム（令和7年3月号）」にて、マザーズルーム等の設置支援事業の実施状況について掲載（以下参照）したところ、任意にて60人からご意見をいただきました。ご意見の大多数が、その取組に賛同し、今後の推進に期待を寄せる内容となっていました。次ページにそのご意見を抜粋していますのでご参考ください。

共済フォーラム（令和7年3月号） 7ページより

マザーズルーム等の設置支援事業を実施しています 調査研究

当共済組合では、組合員の皆さまのウェルビーイングを高める福祉事業の調査研究として、「教職員の働き方改革のためのマザーズルーム等の設置に対する支援事業」を実施しています。

この事業では、令和5年度から全国14カ所の教育委員会と連携して、自治体が学校に設置する「マザーズルーム」や「リフレッシュスペース」で使用される備品等の購入費用を一部助成し、教職員の健康維持・健康回復への効果等について調査研究を行っています。これにより、全国16校にマザーズルーム等が設置されました。今後、教職員の働き方改革や職場環境の改善に向けた取組が推進されるように、令和7年度には16校の効果検証をふまえた調査研究の成果を取りまとめ、関係機関へ共有する予定です。

全国16校にマザーズルーム等が設置されました

- マザーズルームは、主に産後の教職員が安心して働き続けることができるよう搾乳や休憩のために設けられたスペースです。
- 出産後の教職員ではなくても、「リフレッシュスペース」として、体調不良時や息をつきたいときなどにご活用いただいています。
- マザーズルームやリフレッシュスペースは、新しく部屋を増設しなくても、空き教室の利用や、既存の部屋の一角にスペースをつくることで、あまり費用をかけず設置することができます。

これまで、搾乳が必要な教職員が休み時間にトイレで搾乳するしかなく、不衛生な環境が原因で体調を崩すこともありましたが、マザーズルームにより改善が期待されています。

利用者の声

- めまいでしんどくなった先生が、リフレッシュルームで休憩しているのを数回見ました。保健室では子どもの目もありますし、けれども横にならないとつらい症状なので、あって良かったと思います。
- 職員室では一人になれないので、短い時間でもリフレッシュになりました。
- 私自身もつわりがひどく、そのときにこの部屋があればどんなに良かったかと思います。

設置校

- 佐呂間中学校(北海道)
- 青森西高等学校(青森県)
- 小糸小学校(千葉県)
- 八幡小学校(東京都)
- いずみの森義務教育学校(東京都)
- 鶴城小学校(石川県)
- 金沢藤丘中学校(石川県)
- 片葩小学校(愛知県)
- 東浦中学校(愛知県)
- 千葉第二小学校(大阪府)
- 成和小学校(大阪府)
- 府中学園(義務教育学校)(広島県)
- 原小学校(広島県)
- 廿日市中学校(広島県)
- 宇和中学校(愛媛県)
- ひびきの小学校(福岡県)

マザーズルーム等設置の全事例は、当共済組合ホームページからご覧いただけます。

※上記「備品等の購入費用に係る一部助成」の取組については令和6年度末をもって終了しています。

当記事に対する読者（教職員）からの自由意見

- ・妊娠、育児中に体調面の悩みがあったので、マザーズルームやリフレッシュルームの設置が進められるのはとても良いことだと思った。
 - ・マザーズルームとても良いなと思いました！民間企業だと職員の休養室が整っているところが多いのではないと思うので、学校でもあったほうが絶対に良いと思います。
 - ・職員室でひとりになることはなく、ストレスを感じているから休憩室うらやましい。先生たちは、自分のクラスの教室で児童が帰った後いくらでも休憩できるが、事務職員は、児童の対応、保護者、業者の対応などで休むところがない。
 - ・私は子育て期は終わってしまいましたが、こういう制度があったらもっと働きやすかったなと思いました。
 - ・学校環境の改善を考えていく上で、新たな気づきでした。
 - ・このような取組が多く職場で広がるといいなと思いました。
 - ・マザーズルームが設置される学校が出てきた事に驚いた。入学式や卒業式などの時、体育館横の女子更衣室を授乳室に簡易で場所を作っているが、そういう時に必要な方々にも使ってもらえるのでいいなと思った。
 - ・勤務校でリフレッシュルームを作るなら、どこがいいか、思い浮かべました。どこの学校にもできたら働きやすくなると思います。若い方には、妊娠中物置のような部屋にキャンプ用のマットを敷いて横になって休んだ私のような思いをしてほしくありません。
 - ・本当はもっと早く設置しなければいけない部屋なのに、今までなかったのが不思議に思いました。学校は子供達の場所でもあります、働く教職員の場所でもあることをあらためて感じました。
 - ・今妊娠中なので、とてもタイムリーなネタで関心があったから。各学校にできたらいいなと思った。
 - ・設置されている学校は羨ましいなと思いました。もし勤務校にあるなら、産休前のつわりで辛い時や、不妊治療で辛い時など、心身ともに不安定な時に使いたいなと思いました。
 - ・自分自身が妊婦で、悪阻の時に休憩する場所がなくとてもしんどかった。マザーに限らず、心身ともに子供や同僚の目から離れて休憩したいときにできる場所の確保は、労働環境の上でもとても必要なことだと感じた。
 - ・この取り組みを初めて知りました。職場もリフレッシュできる更衣室に整備し直せたらいいなと思いました。
 - ・マザーズルームが設置されれば、育児中の体調不良時に休憩することができるので嬉しいです。私は悪阻で点滴をしないと日常生活もままならなかったのも、横になりながらも仕事ができれば…と何度も思いました。設置はありがたいですが、利用には管理職を始め、すべての教職員の理解が必要と考えます。
 - ・職場に産休を控える職員がおり、復職後についてなど話をする機会がありました。今後、どのように広がっていくのか楽しみです。
 - ・私もつわりがひどかったので、こんなお部屋があったらよかったです。ぜひ広まってほしいです。
 - ・マザーズルームで子育てしながらお仕事もできたらいいなと思いました。また、学校には休憩場所がなく、辛かったので、全ての学校にできて欲しいと思ってます！
 - ・誰でもが横になれるスペースがほしいですね。
 - ・本県でも取り組んでいる学校があるとわかり、少し驚きました。少しずつ皆が働きやす、過ごしやすい職場になればと思います。
 - ・多忙な先生方をサポートするとてもよい事業だと感じました。
- ※ ほか多数ご意見をいただきました。

他団体における教職員に対する職場環境改善の取組一例

1 北九州市

当事業を活用いただいた北九州市において、市単独事業とした「リフレッシュルーム(ミモザルーム)整備事業」を令和7年度北九州市当初予算の新規事業として実施されることから、お話を伺いました。

Q 令和5年度に当共済組合が実施した「マザーズルーム等設置事業」を活用いただきました。

「マザーズルーム等設置事業」を受けて、「リフレッシュルーム(ミモザルーム)整備事業」を北九州市単独事業として実施されることとした思いはどこにありますでしょうか。

A 北九州市では教職員の6割超を女性が占め、産休・育休取得者数は高い水準で推移しており、産前や職場復帰後の就業を支える職場環境整備は重要な課題となっています。

令和5年度に、公立学校共済組合の「マザーズルーム等設置事業」を活用し、北九州市立ひびきの小学校に「リフレッシュルーム」を整備し、職場環境向上の研究に取り組んだところ、利用者から喜びや感謝の声を多くいただきました。

そのため、教職員のウェルビーイング向上の実現に向けて、整備対象を拡大し職場環境の向上に努めるとともに、事例研究を強化していくため、令和7年度市単事業として事業化に至りました。

事業化にあたっては、令和5年度「マザーズルーム等設置事業」の実施で得た「利用者の声(アンケート結果)」や「利用実績(利用者の年齢層や利用回数)」等を、市の予算要求時に活用することができました。

Q 「リフレッシュルーム(ミモザルーム)整備事業」で目指す教育環境の未来はどのようなものでしょうか。

A 令和8年度以降の予算措置は未定ですが、令和5年度公立学校共済組合「マザーズルーム等設置事業」や令和7年度北九州市「リフレッシュルーム(ミモザルーム)整備事業」で得た成果を、市内全校に拡大していきたいと考えています。

北九州市教育大綱では、「こどものウェルビーイングを実現するためには、教職員のウェルビーイングを確保することが必要」という考え方を柱の一つとして、質の高い教育環境の充実を図っていくとしています。

妊娠中や育児中の就業を支える環境整備を行うことは、教職員の福利厚生を向上させるだけでなく、優秀な女性教職員の離職防止や活躍推進を通じるものと考えており、引き続き教育環境の向上を図っていききたいと考えています。

※当内容については、当共済組合ホームページにも記載されています。

2 教職員共済生活協同組合

教職員共済生活協同組合（以下「教職員共済」といいます。）は、令和7年度に創立60周年を迎え、記念事業として職域の職場環境改善に対する社会貢献活動を実施し、教職員に対する支援を行います。

具体的には、「学校の休憩室整備にかかる支援事業」として、教職員向け休憩室等の整備を行う自治体（学校）に対し、教職員共済が物品寄贈（冷蔵庫、電子レンジ、テーブル、チェア、ソファベッド、パーティション等）をすることで教職員の心身のリフレッシュや職場環境の改善を促し、人材定着や教育の向上に寄与します。

予算、実施期間、寄贈先の選定校等については、別途、調整中です。

※ 教職員共済生活協同組合（ホームページより抜粋 <https://kyousyokuin.or.jp/>）

「教職員共済生活協同組合（教職員共済）は消費生活協同組合法（生協法）のもとで、厚生労働省の認可を受けて設立された、共済事業を行う協同組合です。

教職員共済は、共同互助の精神にもとづき、組合員（教職員）の生活の文化的・経済的改善向上を図ることを目的に共済事業を行っています。」